

令和 2 年度（2020年度）

事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目 次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	地域ネットワーク事業	・ ・ ・	1
	生活支援体制整備事業	・ ・ ・	5
	介護予防による地域づくり推進員業務	・ ・ ・	8
	地域介護予防活動支援事業	・ ・ ・	9
	障害者団体及び高齢者団体バス借上げ補助事業	・ ・ ・	15
	第24回みんなといっしょの運動会（障害者運動会）	・ ・ ・	15
	夏の親子レクリエーション	・ ・ ・	16
	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）	・ ・ ・	16
	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	・ ・ ・	18
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・ ・ ・	20
	障害者就労支援事業	・ ・ ・	21
在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・ ・ ・	23
	第1号訪問事業生活援助型	・ ・ ・	26
	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業	・ ・ ・	28
	高齢者食事宅配サービス事業	・ ・ ・	29
	車椅子貸出事業	・ ・ ・	31
	コミュニケーション支援事業	・ ・ ・	31
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・ ・ ・	34
	防災・減災をテーマにした地域づくり	・ ・ ・	44
	日野市介護サポーター制度	・ ・ ・	47
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・ ・ ・	48
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・ ・ ・	51
	地域支え合い福祉活動助成	・ ・ ・	52
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・ ・ ・	54
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	・ ・ ・	57

	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急特例貸付	・ ・ ・	5 7
	ヒカリ興業奨学基金	・ ・ ・	6 1
福祉サービス利用援助事業	地域福祉権利擁護事業	・ ・ ・	6 2
	権利擁護センター日野	・ ・ ・	6 2
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・ ・ ・	6 6
	手話講習会事業	・ ・ ・	6 6
	福祉のしごと相談・面接会	・ ・ ・	6 7
	介護人材育成研修事業	・ ・ ・	6 8
	社会福祉士養成のための実習生の受入	・ ・ ・	7 1
法人運営事業	組織運営事業	・ ・ ・	7 2
公益事業拠点区分			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・ ・ ・	7 9
高齢者就業創出支援事業	しごとサポートひの	・ ・ ・	8 0
収益事業拠点区分			
自動販売機設置管理事業		・ ・ ・	8 1
日野市役所内売店の運営		・ ・ ・	8 2
共同募金運動			
赤い羽根共同募金運動	日野地区協力会	・ ・ ・	8 3
	日野地区配分推せん委員会	・ ・ ・	8 4
歳末たすけあい運動の実施		・ ・ ・	8 6
日野市社会福祉協議会	組織体制	・ ・ ・	8 7

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	地域ネットワーク事業
事業形態	独自事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。 既に存在する同様の組織や活動との整合性を図り、住民が無理や無駄がなく活動していける基盤整備を市と協力して進める。
内容	1. 地域担当の配置
実績報告	1) 職員の体制 日野市の4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・ひらやま・たかはた）ごとに、地域担当職員を配置し、より細やかな支援を目指してきた。 2) 「地域担当」の業務の見える化 役割や存在意義を明確にするため、集計可能な記録方法の導入と、その整理のためのアドバイザーを導入した。今年度は新型コロナウイルスの影響で依頼できなかったが、継続して東京都立大学名誉教授小林良二氏をアドバイザーとしてお願いしている。 3) 「地域力強化推進事業」の支援ネットワーク委員会（わがまる委員会） 今年度は新型コロナウイルスの影響で、会議の開催はなかった。 4) 「リビングラボ」への関わり 市企画部が諸力融合により地域課題を解決する活動であるリビングラボは、今年度は新型コロナウイルスの影響が続く中、高齢者がつながれる形を考えることをテーマに実施され、協力した。 ①プラチナリビングラボの話し合いの場に参加（7/31） ②高齢者の生活課題についてヒアリングを受けた（8/5） ③KDDIのアンケートに協力、事業展開にアドバイスを行った。 5) 日野市「新しい生活様式に即した移動販売による共助の食ネットワーク構築事業」への協力 ①打合せに参加 9/11, 10/20 ②サロンでのヒアリングのコーディネート 9/25, 28, 29, 30, 2/12, 16 6) その他 地域担当としての活動（詳細は別途記載） ①ハンディキャブ訪問面接 ②防災イベントを中心にボランティア・センターと共に協力し地域との関わりを深めた。特に今年度は、Zoomを活用したイベントの実施において、協働した。また、小中学校対象の福祉体験講座にも協力した。 ③在宅サービス係と担当地域ごとに連携。特に今年度は2層の協議体の

	支援での協働が増加している。 ④地域協働課主催の中学校区ごとのアクションプラン実行委員会へ出席																											
事業効果・評価 方向性等	・2カ所目の「地区社協」の展開を検討継続してきたが、南平と同じ形は難しいため、他の会議体や市民の動きに合わせて、柔軟に支援していくことが必要になっている。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響で、事業・イベントや地域の活動中止が相次いだ。新型コロナウイルスの感染が心配で再開しないところも多く、十分な支援ができない状況が続いた。 ・社協としても地域に出ていくのが難しい中、一つの方法としてZoomを活用した。 ・地域支援の専門職としてさらに業務内容を充実させることで、地域福祉コーディネーターの配置について市と話を始めることができた。																											
内 容	2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援																											
実績報告	5年目を迎え、引き続き会の安定的な運営と維持に努め、合わせて多くの市民の方に知って頂くために、①伝える（広報・啓発活動）、②つなぐ（ネットワーク化）、③続ける（継続していく）の3つを柱として推進し、地区の活性化と住みやすいまちづくりを目指して活動した。 1）ぷらっとの拠点開設 毎週水曜日13：00～16：00 来所件数 2件 ぷらっとの活動に関心を持ち活動の話を聞きに来所。その後運営委員として活動に参加することになった。 2）役員会 5回（6/10, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7） 3）運営委員会 0回 4）会報誌「ぷらっと南平だより」の発行（年2回発行予定） 6号（4,000部） 7号は新型コロナウイルスによる事業中止に伴い発行も延期 5）子どもの居場所づくり「希望のとびら」 新型コロナウイルスの影響により活動中止。再開の時期未定。 6）他団体への協力 <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>場所</th></tr><tr><td>6/20</td><td>南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会</td><td>ぷらっと南平事務所</td></tr><tr><td>8/12</td><td>南平小学校避難所運営マニュアル作成の写真撮影</td><td>南平小学校</td></tr><tr><td>8/19</td><td>南平小学校避難所運営マニュアル作成の機材チェック</td><td>南平小学校</td></tr><tr><td>9/5</td><td>南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会</td><td>ぷらっと南平事務所</td></tr><tr><td>9/9</td><td>南平地域づくり協議体参加</td><td>ぷらっと南平事務所</td></tr><tr><td>9/30</td><td>認知症サポーター養成講座</td><td>ぷらっと南平事務所</td></tr><tr><td>11/21</td><td>南平地域づくり協議体参加</td><td>南平駅西交流センター</td></tr><tr><td>3/27</td><td>南平地域づくり協議体参加</td><td>ぷらっと南平事務所</td></tr></table>	開催日	内容	場所	6/20	南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会	ぷらっと南平事務所	8/12	南平小学校避難所運営マニュアル作成の写真撮影	南平小学校	8/19	南平小学校避難所運営マニュアル作成の機材チェック	南平小学校	9/5	南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会	ぷらっと南平事務所	9/9	南平地域づくり協議体参加	ぷらっと南平事務所	9/30	認知症サポーター養成講座	ぷらっと南平事務所	11/21	南平地域づくり協議体参加	南平駅西交流センター	3/27	南平地域づくり協議体参加	ぷらっと南平事務所
開催日	内容	場所																										
6/20	南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会	ぷらっと南平事務所																										
8/12	南平小学校避難所運営マニュアル作成の写真撮影	南平小学校																										
8/19	南平小学校避難所運営マニュアル作成の機材チェック	南平小学校																										
9/5	南平小学校避難所運営マニュアル作成小委員会	ぷらっと南平事務所																										
9/9	南平地域づくり協議体参加	ぷらっと南平事務所																										
9/30	認知症サポーター養成講座	ぷらっと南平事務所																										
11/21	南平地域づくり協議体参加	南平駅西交流センター																										
3/27	南平地域づくり協議体参加	ぷらっと南平事務所																										

	7) オンラインツール (Zoom) を活用した交流の場づくり Zoom を活用した「Zoom で井戸端会議」を実施している。新型コロナウイルスの影響で人との関わりが希薄になっていることを受けて、Zoom を活用して気兼ねなく会話ができる場を創設。社協は Zoom の使い方の指導や参加者の紹介等を支援。 毎週水曜日 14:00~14:30 参加人数 平均5名																		
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの影響により多くの事業が中止となり活動が停滞している。そのような中、役員の方を中心に Zoom を取り入れることにより、普段では繋がれない層の地域住民と接する機会を増やすことができた。今は井戸端会議という形でやっているが、最終的には見守りが必要な高齢者と繋がって見守り活動まで展開できればと考えている。																		
内 容	3. 地域懇談会アクションプラン実行委員会との連携・協働																		
実績報告	1) 日野市地域協働課主催の地域懇談会への出席 今年度は、新型コロナウイルスの影響で、地域懇談会は上半期は実施されず、下半期にZoomで実施された。 11/14, 28の2日間参加した。 2) 各地域アクションプラン実行委員会 地域を活性化するために実行するアクションプランの実行委員会も、新型コロナウイルスの影響で、一部のみの実施であった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th><th>内容・実行委員会開催日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野第一中学校</td><td>実行委員会 9/2, 10/14(オンラインでの参加)</td></tr> <tr> <td>日野第二中学校</td><td>実行委員会活動中止</td></tr> <tr> <td>日野第三中学校</td><td>実行委員会へは不参加</td></tr> <tr> <td>日野第四中学校</td><td>「ラジオ体操で地域がつながる」 (8/23) 6/26, 7/3, 7/17, 7/29, 8/15, 8/21, 8/22, 9/25 (内7/17, 9/25以外はオンラインによる実施)</td></tr> <tr> <td>三沢中学校</td><td>実行委員会へは不参加</td></tr> <tr> <td>七生中学校</td><td>「ななおBONまつり」 (今年度は中止) 実行委員会活動中止</td></tr> <tr> <td>平山中学校</td><td>「ひらやまえんにち」 (今年度は中止) 「平山わの会」 8/7実行委員会へは不参加</td></tr> <tr> <td>大坂上中学校</td><td>実行委員会活動なし</td></tr> </tbody> </table>	地区	内容・実行委員会開催日	日野第一中学校	実行委員会 9/2, 10/14(オンラインでの参加)	日野第二中学校	実行委員会活動中止	日野第三中学校	実行委員会へは不参加	日野第四中学校	「ラジオ体操で地域がつながる」 (8/23) 6/26, 7/3, 7/17, 7/29, 8/15, 8/21, 8/22, 9/25 (内7/17, 9/25以外はオンラインによる実施)	三沢中学校	実行委員会へは不参加	七生中学校	「ななおBONまつり」 (今年度は中止) 実行委員会活動中止	平山中学校	「ひらやまえんにち」 (今年度は中止) 「平山わの会」 8/7実行委員会へは不参加	大坂上中学校	実行委員会活動なし
地区	内容・実行委員会開催日																		
日野第一中学校	実行委員会 9/2, 10/14(オンラインでの参加)																		
日野第二中学校	実行委員会活動中止																		
日野第三中学校	実行委員会へは不参加																		
日野第四中学校	「ラジオ体操で地域がつながる」 (8/23) 6/26, 7/3, 7/17, 7/29, 8/15, 8/21, 8/22, 9/25 (内7/17, 9/25以外はオンラインによる実施)																		
三沢中学校	実行委員会へは不参加																		
七生中学校	「ななおBONまつり」 (今年度は中止) 実行委員会活動中止																		
平山中学校	「ひらやまえんにち」 (今年度は中止) 「平山わの会」 8/7実行委員会へは不参加																		
大坂上中学校	実行委員会活動なし																		
事業効果・評価 方向性等	・今年度は、新型コロナウイルスの影響で、上半期は地域懇談会が開かれず、下半期はZoomによる開催があったが試験的なものになった。また、アクションプランの検討・実施も一部の地域に限られた。四中地区では、Zoom を活用したイベントを開催し、より地域との関係が深まった。今後、地区社協や第2層協議体の支援を視野に入れて、必要に応じて関わっていく必要がある。																		

内 容	4. 地域福祉活動団体への支援												
実績報告	1) 各団体への支援 ①ふれあいサロン「縁がわ」(日野本町) スタッフ打合せ会に出席し、新型コロナウイルスの影響での休止中の開催時期ややり方について検討した。(7/14) ②あったかい手とて(多摩平) 今年度は新型コロナウイルスの影響で活動見送りとなった。(7/2,8/6) ③明星地区つながりの家「アムール」(程久保) スタッフ役員会議に出席した。 (6/1,6/17,7/15,9/16,10/21,11/18,12/16,1/20,2/17,3/17) ・新しくひの筋体操に参加された方向けに指導に訪問した。(8/4) ④ふれあいあじさいサロン(高幡) ・サロン活動を再開するための準備会に参加した。 (6/18,2/16,3/16) ・Zoomを活用してひの筋体操をする事例紹介をした。(7/21) ⑤新町カフェ(新町) 新規立ち上げの打合せに参加し(7/14)、第1回目に様子を見に訪問した。(7/28) 新型コロナの影響で、開催回数は少なかった。 ※日野市内のサロンを運営している団体へ感染予防対策のチラシを郵送して情報提供を行った。 2) 交流ひろばC a f é 居場所や交流の場づくりの活動をしている団体の情報交換会を、オンラインと会場併用で開催した。												
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8/28</td><td>オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換</td><td>中央福祉センター</td><td>14団体</td></tr><tr><td>3/2</td><td>オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換・助成金説明</td><td>中央福祉センター</td><td>オンライン23 会場 9</td></tr></table>	開催日	内容	会場	参加者	8/28	オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換	中央福祉センター	14団体	3/2	オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換・助成金説明	中央福祉センター	オンライン23 会場 9
	開催日	内容	会場	参加者									
	8/28	オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換	中央福祉センター	14団体									
	3/2	オンライン(Zoom)と会場での開催による、活動報告・情報交換・助成金説明	中央福祉センター	オンライン23 会場 9									
※ボランティア・センターが企画した、「Zoomによるサロン・居場所情報交換会」を各団体に紹介し、協力開催した。(7/15)													
・新型コロナウイルスの影響で、活動を中止しているところが多く、高齢者の引きこもりによる体力の低下が心配な状況が続いている。 ・7月から、市内の多くの公共施設が限定的ではあるが使用を認めたことで一部再開したところもあり、情報交換する中で、始めるための工夫等が話され、前向きに考えられるようになったとの意見もあった。どうやったらできるかを、共に考えながら支援していく必要がある。 ・少しずつサロンを再開した団体もあったが、年明けからの緊急事態宣言により、再度の閉鎖を余儀なくされた団体が多かった。 ・サロンを開くことも閉鎖することも、各団体にとっては苦渋の決断となり、スタッフの意見をまとめることも苦労されていた。													
事業効果・評価 方向性等													

事業名	生活支援体制整備事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	地域支援係・在宅サービス係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	地域包括ケアシステムの中で、日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体の運営を行う。また、第2層生活支援コーディネーターと協力しながら協議体の事務局として運営管理を行い、日野市における生活支援の基盤整備を図る。	
内容	1. 第1層協議体 および 生活支援コーディネーター業務	
実績報告	1) 第1層協議体	
	①第1層協議体の開催 年2回	
	開催日	内容 参加者
	第1回 8/26	第1層協議体でできることについて 第2層協議体の状況について報告 12人 事務局4人
	第2回 3/24	日野市市内の生活支援サービスの情報共有 次年度の1層協議体の方向性の確認 13人 事務局4人
	※2回とも会場は中央福祉センター	
	②構成	
	ひの市民活動ネットワーク、日野市シルバー人材センター ひのケアマネ協議会、ひのリハビリテーションネットワーク 日野市介護保険関連施設連絡協議会、日野市在宅介護事業者連絡会 日野市老人クラブ連合会、日野市民生委員・児童委員協議会 日野市地域包括支援センター 日野市健康福祉部高齢福祉課 日野市第1層生活支援コーディネーター	
	2) 第2層生活支援コーディネーターの支援	
	地域包括支援センターの圏域連絡会で検討あるいは第2層協議体について包括と話し合いの場を持った。第2層協議体に可能な限り出席。	
事業効果・評価 方向性等	3) 第2層生活支援コーディネーター連絡会 8/26, 3/1	
	4) 東京都地域ケア会議モデル事業へ参加	
	打合せ 6/17, 26, 7/30, 8/4, 21	
	会議への参加 2/4	
	5) ハ王子市視察 1/7	
内容	・今年度は第1層として市民啓発の事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止している。第2層が少しずつ活動している中、第1層としてできることを考え、市による会議の在り方自体の検討も進んだ。	
	2. 第2層協議体 の事務局運営	
	1) 第2層協議体	
実績報告	各地域包括支援センター（以下包括）のエリアごとに、年3回ずつ開	

催。昨年度に引き続き、各包括に配置された第2層生活支援コーディネーターと、社会福祉協議会に配置されている第1層生活支援コーディネーターを中心に社会福祉協議会が運営事務を担って進めてきた。（運営事務は地域支援係と在宅サービス係の地域担当で協働して実施）

①第2層協議体の開催

ひの圏域

多摩川苑エリア	第1回 (7/30)	会場 万願荘地区センター 内容 災害時ペット同行避難について 参加者 22名
	第2回 (9/24)	会場 万願荘地区センター 内容 災害時ペット同行避難について 参加者 15名
	第3回 (11/30)	会場 万願荘地区センター 内容 災害時ペット同行避難について 参加者 15名
せせらぎエリア	第1回 (7/14)	会場 新町都営集会所 内容 サロン開設に向けて 参加者 7名

ひらやま圏域

すずらんエリア	第1回 (9/9)	会場 ぶらっと南平事務所 内容 第1回南平資源マップ作成について 参加者 10名
	第2回 (11/21)	会場 南平駅西交流センター 内容 第2回南平資源マップ作成について 参加者 15名
	第3回 (3/27)	会場 Zoomとぶらっと南平事務所 内容 第3回南平資源マップ作成について 参加者 18名
いきいきタウン エリア	第1回 (9/24)	会場 平山交流センター 内容 住民による活動事例発表（2団体） 参加者 27名
	第2回 (11/30)	会場 平山交流センター 内容 第2回平山6丁目と長沼エリア交流会 参加者 12名
かわきたエリア	第1回 (6/25)	会場 浅川リバーハウス 内容 地域住民がつながれる仕組みづくり について 参加者 8名
	第2回 (7/16)	会場 浅川リバーハウス 内容 水害時に助け合える地域づくりにつ いて 参加者 8名
	第3回 (8/6)	会場 平山住宅集会所 内容 水害時に助け合える地域づくりにつ いて 参加者 11名

		第4回 (9/15)	会場 平山住宅集会所 内容 水害時に助け合える地域づくりについて 参加者 13名
	たかはた圏域		
	あさかわ、もぐさエリア	第1回 (7/6)	会場 高幡台団地集会所 内容 第1回星空上映会打合せ 参加者 10名
		第2回 (8/19)	会場 高幡台団地集会所 内容 第2回星空上映会打合せ 参加者 24名
		第3回 (9/4)	会場 高幡台団地集会所 内容 第3回星空上映会打合せ 参加者 16名
		第4回 (9/18)	会場 高幡台団地集会所 内容 第4回星空上映会打合せ 参加者 20名
		第5回 (10/16)	会場 高幡台団地集会所 内容 第5回星空上映会打合せ 参加者 15名
		(10/22)	会場 高幡台団地 内容 星空上映会 (野菊の墓) 参加者 約50名
		第6回 (11/17)	会場 高幡台団地集会所 内容 第6回星空上映会打合せ 参加者 20名
		第7回 (12/18)	会場 高幡台団地集会所 内容 第7回星空上映会打合せ 参加者 20名
		第8回 (3/30)	会場 高幡台団地集会所+オンライン 内容 第8回星空上映会打合せ 参加者 19名
	とよだ圏域		
	すてっぷエリア	第1回 (7/27)	会場 豊田南地区センター 内容 第1回プラチナ会議「新型コロナウイルスによる高齢者の生活課題について」 参加者 39名
		第2回 (9/28)	会場 豊田南地区センター+オンライン 内容 第2回プラチナ会議「防災 (水害) の地域の取り組みについて」 参加者 28名
		第3回 (11/30)	会場 豊田南地区センター+オンライン 内容 第3回プラチナ会議「地域で行われている防災活動について。高齢者を地域で支える仕組み作り。」 参加者 21名

	あいりんエリア	第1回 (9/14)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 第1回プラチナ会議「新型コロナウイルス禍における高齢者の生活課題について」 参加者 13名														
		第2回 (10/12)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 第2回コロナ禍における集合住宅の課題について。 参加者 17名														
		第3回 (11/16)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 第3回コロナ禍における集合住宅の課題について。 参加者 18名														
	②協議体開催に向けた打合せ																
	<table><tr><td>圏域</td><td>打合せ</td><td>包括圏域連絡会議</td></tr><tr><td>ひの</td><td>6/30 (多摩川苑)</td><td>—</td></tr><tr><td>ひらやま</td><td>5/26 (すずらん) , 12/11 (かわきた) 12/17 (いきいき)</td><td>—</td></tr><tr><td>たかはた</td><td>7/6, 9/8, 9/17, 12/2 (あさかわ・もぐさ)</td><td>—</td></tr><tr><td>とよだ</td><td>6/12, 7/17, 8/13(すてっぷ)</td><td>5/21, 7/1, 9/3, 3/25</td></tr></table>			圏域	打合せ	包括圏域連絡会議	ひの	6/30 (多摩川苑)	—	ひらやま	5/26 (すずらん) , 12/11 (かわきた) 12/17 (いきいき)	—	たかはた	7/6, 9/8, 9/17, 12/2 (あさかわ・もぐさ)	—	とよだ	6/12, 7/17, 8/13(すてっぷ)
圏域	打合せ	包括圏域連絡会議															
ひの	6/30 (多摩川苑)	—															
ひらやま	5/26 (すずらん) , 12/11 (かわきた) 12/17 (いきいき)	—															
たかはた	7/6, 9/8, 9/17, 12/2 (あさかわ・もぐさ)	—															
とよだ	6/12, 7/17, 8/13(すてっぷ)	5/21, 7/1, 9/3, 3/25															
③地域へ向けての説明 地域への協議体の説明まわり 6/29																	
事業効果・評価 方向性等	・今年度から各包括エリアごとに協議体の活動を支援していくことになった。新型コロナウイルスの影響で、積極的に動くことが難しい中でも、各包括が様々に工夫しながら、少しずつ活動を進めている。会議から活動へ展開する際に住民主体で活動を進めることが難しく、試行錯誤を重ねている。 ・他の様々な会議体との棲み分けも難しいが、日野市としても整理の検討をしているところである。																

事業名	介護予防による地域づくり推進員業務
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	引き続き、介護予防による地域づくり推進員業務を受託し、住民主体の介護予防推進のための基盤整備やネットワークづくりを行う。
内容	1. 介護予防の推進のための基盤整備
実績報告	1) 地域づくりによる介護予防研修への参加 感染症対策のためオンラインでの参加 7/20, 8/3, 8/24, 9/17, 10/8, 12/4, 2/12

	2) 理学療法士等の専門職との連携 ①南多摩医療圏リハフォーラム打合せ (1/21, 3/4) ②南多摩医療圏リハフォーラム登壇 (3/14)
内 容	2. 関係機関との連携・ネットワークの構築
実績報告	1) 地域住民主体で行う介護予防の取組への支援 ①地域介護予防活動団体への各種支援 立ち上げ支援 4回 活動継続支援 32回 ②地域介護予防活動団体の発掘及び登録 登録依頼、相談、手続き等 1回 日野市地域介護予防活動団体 登録支援数 55団体 (内、ひの健幸貯筋体操実施団体 39団体) 2) 広く活動の周知や体操の普及による介護予防推進の支援 ①「ひの健幸貯筋体操」の紹介 広報ひのへ掲載 1回 ②登録団体の活動を周知する ひの広報にて紹介 1回 Hi know!にて活動団体紹介 39団体
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの影響もあり、ほとんどの団体が活動を休止している。緊急事態宣言によって活動が左右されることも多く、1年間継続して活動ができた団体はほとんどなかった。 ・活動先を探している市民も多かったが、団体が活動していないことにより紹介することが出来なかった。

事業名	地域介護予防活動支援事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備し、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を育成し、支援することで、地域づくりにつなげていく。
内 容	1. 介護予防教室の開催
実績報告	介護予防教室の実施を日野市から受託し、市内9カ所の地域包括支援センターのエリアごとに、体力測定会も含めて年約12回ずつ合計108回の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により高齢福祉課と協議の上、上半期は開催を中止した。 10月から介護予防教室を開始したが、1月より緊急事態宣言が発令されたことにより、再び中止することとなった。そのため、今年度の介護予防教室は10月から12月までと、3月末のみの開催となった。

1) 実績

生活圏域	地域包括支援センター	開催日	開催回数	参加者合計
ひの	せせらぎ	10/28, 11/25, 3/24	3回	23人
	多摩川苑	10/13, 11/10, 12/8, 3/30	4回	28人
とよだ	あいりん	11/16, 11/30, 12/21, 12/22 12/22, 3/26	6回	61人
	すてっぴ	10/21, 10/21, 11/18, 11/18 12/16, 12/16, 3/26	7回	83人
ひらやま	すずらん	10/15, 11/2, 11/19, 11/30 12/7, 1/6, 3/22, 3/24, 3/29	9回	43人
	いきいきタウン	10/14, 10/14, 12/9, 12/9	4回	35人
	かわきた	10/19, 10/19, 11/16, 11/16 12/21, 12/21	6回	46人
たかはた	あさかわ	10/1, 10/28, 11/4, 11/5 11/11, 12/3, 3/24, 3/31	8回	74人
	もぐさ	10/1, 11/5, 11/20, 11/27 12/3, 12/9, 12/16, 12/23	8回	90人
合計			55回	483人

2) シニア体力測定会の実施

ひの筋体操を実施している地域介護予防活動団体を中心に、自分の現状や体操の効果を実感することで継続して体操を実施して頂くことを目的にシニア体力測定会を実施。なるべく日野市全域に呼びかける為に包括圏域ごとに上半期1回、下半期1回計2回開催を予定したが、緊急事態宣言の影響を受け、上半期は実施できず、下半期も6か所のみでの開催となった。

生活圏域	開催日	場所	参加者
たかはた	1/7	福祉支援センター	15人
とよだ	11/13	多摩平ふれあい館	31人
ひらやま	11/11	平山交流センター	31人
	12/7	新川辺地区センター	13人
	3/29	旭が丘センター	27人
ひの	12/23	中央福祉センター	10人

3) ひの筋サポーター養成講座の実施

開催日	内容	参加者
3/31	・介護予防とは ・ひの筋体操の実際と注意点 ・体力測定の方法 講師 免田伸子 氏、本間義崇 氏 (理学療法士)	10人

※会場は中央福祉センター

事業効果・評価
方向性等

委託元の高齢福祉課と協議しながら事業を進め、10月から開催した。新型コロナウイルスの影響で閉じこもっていた高齢者も多く、開催を喜ぶ声も多く聞かれたが再度中止になり、個別の参加申込者や指導者、会場への連絡など、直前に慌ただしく対応することも多く、コロナに翻弄された形になった。体力測定会も、実施回数は少なかったが申込者は毎回多かった。また今年度から、健康課と連携し、介護予防教室の中で口腔ケアの情報提

	供を行った。健康課が実施している健康づくりの事業との連携も検討できた。 新型コロナウイルスの影響で、高齢者が閉じこもってしまうことのマイナス面が心配なため、集まらなくてもできる方法を模索した。																
内 容	2. ひの健幸貯筋体操の普及・啓発																
実績報告	1) 「ひの健幸貯筋体操」に取り組む団体への支援 2か所 前年度に引き続き「ひの健幸貯筋体操（ひの筋体操）」の普及に取り組んでいる。希望された団体を対象に、新たなメンバーを受け入れていただくこと、登録団体なること等を条件に、3カ月程度の体操指導や重りの貸出等を支援する。 今年度は新型コロナウイルスの影響で、新規に始める団体がほとんどなく、始めたところも続けられない等の状況があった。																
	<table><tr><th>実施団体</th><th>会場</th><th>開催日</th><th>延べ参加人数</th></tr><tr><td>エンジョイルームかわせみ</td><td>三沢都営集会所</td><td>6/23, 7/14</td><td>18人</td></tr><tr><td>老輝会</td><td>東部会館</td><td>9/9, 9/16</td><td>10人</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>28人</td></tr></table>	実施団体	会場	開催日	延べ参加人数	エンジョイルームかわせみ	三沢都営集会所	6/23, 7/14	18人	老輝会	東部会館	9/9, 9/16	10人	合計			28人
	実施団体	会場	開催日	延べ参加人数													
	エンジョイルームかわせみ	三沢都営集会所	6/23, 7/14	18人													
	老輝会	東部会館	9/9, 9/16	10人													
	合計			28人													
	2) ひの筋体操DVDの貸し出し及び販売 新型コロナウイルスの影響により集まることが困難となったため、自宅で一人でも体操を実施できるよう、ひの筋体操DVDのレンタル・販売を開始した。 レンタル数 2件 販売数 84枚 訪問指導 2回																
	3) 介護予防手帳の作成 介護予防の活動を記録したり、情報を提供したりすることで、正しいやり方で意欲を持って取り組んでもらうためのツールとして、「介護予防手帳」を作成した。																
	4) Zoomを活用したひの筋体操の実施 集まることが難しい中で、ひの筋体操に取り組んでもらう方法として、DVDの貸し出しや、市のホームページでのPRやYouTubeでの配信、広報ひのでのPR等に取り組む中で、Zoomによるひの筋体操を実施した。 機械を通してではあるものの、一緒にやっているという気持ちになる、参加者同士でおしゃべりができ顔が見られてうれしい等の感想があった。																
	「おうちでひの筋第1弾」 10回開催 延べ参加人数 94人 (7/10, 7/17, 7/31, 8/7, 8/14, 8/21, 8/28, 9/4, 9/11, 9/18) 「おうちでひの筋第2弾」 10回開催 延べ参加人数 79人 (10/6, 10/13, 10/20, 10/27, 11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15) 「おうちでひの筋第3弾」 10回開催 延べ参加人数 115人 (1/7, 1/21, 1/28, 2/4, 2/18, 2/25, 3/4, 3/11, 3/18, 3/25)																
5) リハビリ職との連携の推進 連携の仕組みづくりは進んだが、新型コロナの影響で、実際の訪問依頼は																	

	少なかった。 Zoomを利用した「おうちでひの筋体操」でも、リハビリ専門職にフレイル予防に関すること、また効果的な体操について講義を依頼した。(12/15)
事業効果・評価 方向性等	・「ひの健幸貯筋体操」の普及・啓発を進めることで、介護予防を地域で自主的に行う団体を増やし、高齢者が身近な地域で週に1回程度体操に参加できることを目標に取り組みを継続しているが、今年度上半期は新型コロナウイルスの影響で新規の活動がほとんどなく、休止にする団体がほとんどであった。 ・活動団体を広報ひの等で紹介すると、その都度問い合わせが多くあり、関心の高さが伺えたが、休んでいるところも多く、タイミングの難しさを感じた。 ・その中で、新型コロナウイルス感染防止に関する情報提供や活動再開した団体の情報提供を随時行った。 ・集まることが難しい状況での対応の一つとして、ひの健幸貯筋体操DVDレンタル・販売を開始した。少しずつ広まり購入者が増えている。 ・自宅で参加できるZoomによるひの筋体操を実施したところ、高齢者の中でもパソコンやスマホを活用できる意欲的な方が参加した。Zoomを使用できるようになってもらうために、事前の指導を丁寧に行い時間をかけた。 ・Zoomによるひの筋は、天候の心配がない、エリアに関係なく参加可能等のメリットがある一方、すぐに自主化は難しいが、参加した方が新型コロナウイルスが落ち着いて集まれるようになった時にやっていただくための普及啓発と考え、さらに実施していく予定である。ただし、より多くの高齢者に広げていくためには、Zoom環境を整えることに課題がある。 ・Zoomでの参加を促すにあたり、ボランティア・センターのZoomを使用した講座が有効であったため、今後も高齢者のスマホ教室等で働きかけていきたい。 ・年明けに再度緊急事態宣言が発令され、地域で行っている介護予防教室などが中止となったことにより、Zoom等オンライン講座の関心も高まったことから、「おうちでひの筋体操」の参加者も新規の方が増えた。

内 容		3. 地域介護予防活動団体の登録支援		
実績報告	1) 新規ひの筋体操の普及啓発活動 新規にひの筋体操に取り組む団体を立ち上げ、継続団体となるように支援した。 登録団体 2団体			
	2) 既存の団体の登録支援 介護予防に資する体操または運動をしている団体に、「日野市地域介護予防活動団体」として登録してもらい、Hi know!に掲載の他、広報ひの（9/1号、3/1号）等で広く周知を行った。			
	3) ひの健幸貯筋体操実施団体の登録支援 「ひの健幸貯筋体操」に取り組む団体に、継続して取り組んでもらえるよう登録団体になってもらった。			
	登録団体 51団体（うち、ひの筋を行う団体 38）			
		ひの筋	介護予防活動団体	場所
	①	★	元気印健康クラブ	多摩平4丁目ＡＰ集会所
	②	★	気かけネットワーク	平山苑地区センター
	③		地域交流スペースひだまり	下田地区センター
	④	★	健幸会	百草地区センター
	⑤	★	豊四健康クラブ	豊田南地区センター
	⑥	★	鹿島台ふれあいサークル	鹿島台地区センター
	⑦		歌で楽しむ元気会	七生福祉センター
	⑧	★	レモン倶楽部	新井団地集会所
	⑨	★	落川元気会	落川都営住宅地区センター
	⑩	★	よりみち体操クラブ	さくら集会所
	⑪	★	さざんかの会	宮地区センター
	⑫	★	ふれあいサロン万願荘	万願荘地区センター
	⑬		シャル ウィ ダンス	勤労青年会館
	⑭		元気な音楽の広場	七生福祉センター
	⑮	★	愛隣舎 談話室	愛隣舎ホール
	⑯	★	ひまわり	日野台2丁目地区センター
	⑰	★	栄町ふれあいグループ体操会	新東光寺地区センター
	⑱		こもれび	東神明地区センター
	⑲	★	和楽会	新井わかたけ地区センター
	⑳	★	百草団地ふれあいサロン	百草団地商店街内
	㉑	★	大和田健筋体操	大和田地区センター
㉒		あさひ健幸体操	旭ヶ丘地区センター	
㉓		青春グループ	シティハイツ集会所	
㉔	★	ひだまり（ふれあいサロン）	ふれあいサロンひだまり	
㉕	★	ふれあいサロン南平	ふれあいサロン南平	
㉖	★	豊田団地シニアクラブ	西平山地区センター	

②7	★	南新井ふれあいサロン	南新井ふれあいサロン
②8		ふれあいあじさいサロン	高幡市営住宅地区センター
②9	★	壽楽会	ひの社会教育センター
③0	★	日老連体操クラブ	七生福祉センター
③1	★	ふれあいサロンソレイユ	ふれあいサロンソレイユ
③2	★	滝合木の実会（老人会）	滝合地区センター
③3	★	平山4丁目麦の会	都営平山4丁目アパート集会所
③4		日野ラジオ体操会	多摩平第一公園
③5		仲田ラジオ体操会	市民の森スポーツ公園 エントランス広場
③6		旭ヶ丘ラジオ体操会	旭ヶ丘中央公園
③7	★	茶の間会老人クラブ	新川辺地区センター
③8	★	明星地区つながりの家アムール	アムール（日野市程久保）
③9	★	ピアあさひ	シルバーピアあさひがおか 集会所
④0		新町ラジオ体操会	新町交流センター
④1	★	トマトの会	都営平山第一集会所
④2	★	カトレア	公社平山住宅集会所
④3	★	ぬくもりテラス	南平駅西交流センター
④4	★	ひまわり（ファミリー高幡不動）	百草台コミュニティセンター
④5	★	美好会	かわせみハウス
④6	★	ひの筋体操サロン日野高幡	高幡キリスト教会
④7	★	かわべ会	川辺堀之内研修センター
④8	★	ふれあいサロン縁がわ	四ツ谷下東地区センター
④9	★	快筋会	サンクレイドル日野東平山 集会室
⑤0	★	玄風会	日野台2丁目地区センター
⑤1		平山住宅自治会の大空体操部	平山住宅内の広場

4）登録団体の活動継続のための支援

①状況を把握したり、相談を受けるため、ひの筋体操を実施している団体は年2回、その他の団体は年1回以上、活動の場を訪問する（モニタリング）。ただし、今年度は、新型コロナの影響で実施自体出来ない期間があったため、訪問回数も少なくなった。

②状況に応じて、理学療法士に指導を行ってもらい、継続のモチベーションアップにつなげる。市内リハ職に登録いただき、訪問の依頼をする仕組みづくりはできたが、今年度は新型コロナの影響で、実際の訪問は2回にとどまった。

③登録団体の連絡会は、今年度は実施せず。

事業効果・評価 方向性等	- 登録団体を市民に広く周知するために作成した冊子を市内の歯科医院、内科及び整形外科医院に置いていただくをお願いをした。 - 団体によって、コロナの感染防止対策のための情報提供や、相談を行った。
-----------------	--

事業名	障害者および高齢者団体等のバス借上補助			
事業形態	独自事業			
財源内訳	会費、小地域福祉活動助成、歳末たすけあい配分金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	高齢者や障害者等外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修やボランティア活動等で利用した借り上げたバス費用の一部を補助する。			
内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査			
実績報告	障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助する制度。申請書に基づいた利用区分に応じ、優遇措置を設定している。			
	1) 補助内容			
	対象団体	補助率	限度額	交付回数
	障害者団体 ①	補助対象経費 の1/2	上限30,000円	2回
	高齢者団体 ②		リフト付きバス利用の場合上限40,000円	0回
	市内地域団体 ③	補助対象経費 の1/4	上限20,000円	0回
	その他の団体 ④		リフト付きバス利用の場合上限30,000円	0回
	2) 補助実績			
	年度		合 計	
	2年度	交付件数 補助額	2件 60,000円	
元年度	交付件数 補助額	25件 1,029,900円		
事業効果・評価方向性等	・新型コロナウイルス感染症拡大により、障害者や高齢者等の外出自粛が続 き、年間を通じ2件の交付に留まった。			

事業名	第24回みんなといっしょの運動会（障害者運動会）		
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ/日野市）		
財源内訳	寄附金・受託金（日野市）		
担当係	ボランティア係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる		

目 的	体を動かす機会の少ない障害者の健康増進・運動促進を図るとともに、市内障害者施設・事業所や地域住民・ボランティア間の交流を図る。あわせて、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を目的とする。
事業内容	1. 障害者運動会 開催中止
実績報告	東京 2020 オリンピック・パラリンピック機運情勢事業の一環として、日野市市民の森ふれあいホールを会場に、10/4（日）開催予定で準備を進めた。しかし新型コロナウイルス感染拡大が終息する気配もなく、関係者と開催について協議をし、参加者の安全を最優先に考慮し止む無く中止となった。

事業名	夏の親子レクリエーション
事業形態	独自事業
財源内訳	歳末たすけあい配分金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目 的	ひとり親家庭の親子の交流および障害児世帯の余暇活動を支援。
内 容	1. 親子レクリエーション（日帰りバス旅行）の開催中止
実績報告	ひとり親家庭ならびに障害児世帯を対象に、貸切バスを利用し東京ディズニーシー日帰り旅行の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
事業効果・評価方向性等	・3 密（密閉・密集・密接）となってしまうバスを使った日帰り旅行であること、新型コロナウイルスの影響により目的地である東京ディズニーシーが休園となっていたことから事業中止とした。 ・事業の原資となっている歳末たすけあい募金の減少等もあり、来年度以降は事業を廃止することになった。

事業名	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目 的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。
内 容	1. 相談窓口の設置
実績報告	相談業務をNPO法人東京オレンヂに再委託し、下記のとおり実施した。 1) 日時 毎週木曜日 13:00～/14:00～/15:00～/16:00～(各1時間)

	2) 場所 日野市役所内会議室等 3) 相談実績 () は昨年度実績 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="4">相談者内訳 ※再掲 重複あり</th></tr><tr><th></th><th>相談者数</th><th>高齢</th><th>障害</th><th>低所得 生保</th><th>その他</th></tr><tr><td>4月</td><td>4 (3)</td><td>2 (1)</td><td>1 (1)</td><td>1 (2)</td><td>1 (0)</td></tr><tr><td>5月</td><td>4 (2)</td><td>4 (1)</td><td>1 (1)</td><td>2 (2)</td><td>0 (0)</td></tr><tr><td>6月</td><td>5 (7)</td><td>5 (5)</td><td>2 (1)</td><td>1 (6)</td><td>0 (1)</td></tr><tr><td>7月</td><td>9 (3)</td><td>7 (3)</td><td>2 (0)</td><td>6 (2)</td><td>1 (0)</td></tr><tr><td>8月</td><td>8 (4)</td><td>5 (4)</td><td>2 (0)</td><td>5 (3)</td><td>1 (0)</td></tr><tr><td>9月</td><td>11 (8)</td><td>6 (5)</td><td>3 (4)</td><td>8 (7)</td><td>5 (0)</td></tr><tr><td>10月</td><td>5 (5)</td><td>3 (3)</td><td>2 (1)</td><td>1 (3)</td><td>0 (0)</td></tr><tr><td>11月</td><td>4 (2)</td><td>2 (0)</td><td>0 (0)</td><td>4 (1)</td><td>0 (1)</td></tr><tr><td>12月</td><td>7 (6)</td><td>2 (3)</td><td>2 (0)</td><td>4 (1)</td><td>2 (3)</td></tr><tr><td>1月</td><td>7 (5)</td><td>2 (2)</td><td>3 (2)</td><td>5 (3)</td><td>1 (1)</td></tr><tr><td>2月</td><td>10 (4)</td><td>4 (2)</td><td>5 (3)</td><td>8 (3)</td><td>1 (0)</td></tr><tr><td>3月</td><td>6 (3)</td><td>5 (2)</td><td>3 (2)</td><td>5 (1)</td><td>0 (0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>80 (52)</td><td>47 (31)</td><td>26 (15)</td><td>50 (34)</td><td>12 (6)</td></tr></table> その他 DV被害、ひとり親世帯等 4) 転宅実績合計 33人 (事業開始平成30年6月7日から) <table><tr><th></th><th>転宅人数</th></tr><tr><td>2年度</td><td>11人</td></tr><tr><td>元年度</td><td>13人</td></tr><tr><td>30年度</td><td>9人</td></tr></table>			相談者内訳 ※再掲 重複あり					相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他	4月	4 (3)	2 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (0)	5月	4 (2)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6月	5 (7)	5 (5)	2 (1)	1 (6)	0 (1)	7月	9 (3)	7 (3)	2 (0)	6 (2)	1 (0)	8月	8 (4)	5 (4)	2 (0)	5 (3)	1 (0)	9月	11 (8)	6 (5)	3 (4)	8 (7)	5 (0)	10月	5 (5)	3 (3)	2 (1)	1 (3)	0 (0)	11月	4 (2)	2 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (1)	12月	7 (6)	2 (3)	2 (0)	4 (1)	2 (3)	1月	7 (5)	2 (2)	3 (2)	5 (3)	1 (1)	2月	10 (4)	4 (2)	5 (3)	8 (3)	1 (0)	3月	6 (3)	5 (2)	3 (2)	5 (1)	0 (0)	合計	80 (52)	47 (31)	26 (15)	50 (34)	12 (6)		転宅人数	2年度	11人	元年度	13人	30年度	9人
		相談者内訳 ※再掲 重複あり																																																																																																	
	相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他																																																																																														
4月	4 (3)	2 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (0)																																																																																														
5月	4 (2)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)																																																																																														
6月	5 (7)	5 (5)	2 (1)	1 (6)	0 (1)																																																																																														
7月	9 (3)	7 (3)	2 (0)	6 (2)	1 (0)																																																																																														
8月	8 (4)	5 (4)	2 (0)	5 (3)	1 (0)																																																																																														
9月	11 (8)	6 (5)	3 (4)	8 (7)	5 (0)																																																																																														
10月	5 (5)	3 (3)	2 (1)	1 (3)	0 (0)																																																																																														
11月	4 (2)	2 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (1)																																																																																														
12月	7 (6)	2 (3)	2 (0)	4 (1)	2 (3)																																																																																														
1月	7 (5)	2 (2)	3 (2)	5 (3)	1 (1)																																																																																														
2月	10 (4)	4 (2)	5 (3)	8 (3)	1 (0)																																																																																														
3月	6 (3)	5 (2)	3 (2)	5 (1)	0 (0)																																																																																														
合計	80 (52)	47 (31)	26 (15)	50 (34)	12 (6)																																																																																														
	転宅人数																																																																																																		
2年度	11人																																																																																																		
元年度	13人																																																																																																		
30年度	9人																																																																																																		
事業効果・評価 方向性等	・平成30年6月の窓口開設時から、相談者には日野市役所にお越しいただきお話をうかがっていたが、新型コロナウイルス感染防止策として、4月から電話相談を取り入れ、延べ13人の方が電話相談を利用した。 ・相談者数が増加した要因として、支援者（日野市関係部署、地域包括支援センター等）から紹介されたケースが多かったことが挙げられる。今後も支援者に事業の趣旨を理解してもらい、よりよい支援に繋がるよう働きかけていく。 ・DVにより転宅を検討するケースが多かった。必要があれば関係機関に繋ぐ等、相談者が安心して生活を送れるよう支援した。																																																																																																		
内 容	2. 関係機関との連携																																																																																																		
実績報告	1) 日野市居住支援協議会 2回 (6/26, 2/19) 各回書面開催 2) 定例会 3回 (7/2, 10/22, 3/25) 月例報告、相談者への支援方法、相談窓口と関係機関との連携方法等を話し合うための定例会に出席した。																																																																																																		
事業効果・評価 方向性等	・定例会では、都市計画課を始め日野市健康福祉部（高齢福祉課・障害福祉課・生活福祉課・セーフティネットコールセンター）、東京オレンジ、社協が介し、相談者の情報共有をはかった。また、相談者が日野市で豊か																																																																																																		

	な地域生活を送ることができるために何が必要か意見交換を行った。今後 も定期的に続けていきたい。
--	--

事業名	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	生活困窮世帯等で、家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子どもを対象とし、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援業務を行い、貧困の連鎖を食い止め困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。
内容	1. ほっとも南平の運営
実績報告	「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業の4カ所目。主に平山中学校と七生中学校の学区を受け持っている。 1) 事業内容 日時 毎週月・木 16:30～20:00 定員 小・中学生併せて25人 （小学生は主に居場所支援、中学生は主に学習支援） 1食300円で夕食を提供し、帰りは自宅まで送り届ける。 ※新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が発令されるたびに、時間短縮や利用者を週1回に分散させ密を避ける等、感染予防に努めながら実施した。 ※利用者は新型コロナウイルスの影響での休みはほとんどなかったが、支援者3名が感染を心配してしばらくお休みをした。 2) 利用対象者 子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」、生活保護のケースワーカー等、関係者からの推薦を基に日野市セーフティネットコールセンターで判断、紹介された子ども。 登録者 合計13人（中学生4人、小学生9人）（3月末日現在） 3) 支援者 統括責任者または管理責任者（社会福祉協議会職員） 1人（3人で交替） 学習支援コーディネーター 1人 居場所指導員 1人 調理補助員 1人または2人（曜日で交替） 子どもの人数に応じて大学生等の学習サポーター4人が交替で勤務 4) イベント等 今年はコロナの影響で思うようにはできなかった。 ハロウィンイベント 10/29（近隣家庭の協力要請）

事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍にあっても、ほぼ継続的に実施した。 ・本人よりも、保護者からの要望が強く、あまり休むことなく開所した。 ・子どもを分散させての開催や、マスク着用、手洗い・消毒の徹底、体温の計測、食事の時の飛散防止シートの活用等、三密を避ける工夫や感染防止に努めながらの実施であった。 ・イベントはどうしてもほとんどできず、調理の手伝いやお菓子作りなども見合わせた。 ・登録者のうち、中学生は不登校の子どもが多く、特に家庭の事情が絡んで、ほとんども休むことが多かった。 ・小学生はほぼ毎回全員参加し、開所時間前から来ている子どもも多い。また、障害がある、あるいはその傾向がみられる子どもが多いので、丁寧な対応が求められ、市や関係者と密な連携がより良い支援のために必要である。また、配慮が必要な子どもが多いので、支援者も市で定められた人数以上に配置している。 ・後半、コロナの影響もあってか、子どもたちが落ち着かず、指導者に反発して暴言を吐くことも多いため、指導者のストレスが高くなっている。特に、スマホを手放せない、お菓子やジュースを買って持ち込むなど、ルールを守れない行動が多々見られ、改めてルールや子どもへの対応の仕方を確認し合ったが、なかなか解決には結びついていない。 ・今年度から新たに借りた同アパート 2 階の一部屋は、中学生の参加が少ないため、十分に活用ができていない状況である。 ・居場所としての意味が強くなっているが、少しずつ学習のほうにも力を入れていきたい。その一方で存在の意義を確認し、支援者で共有する必要がある。
内 容	2. 関係機関との連携
実績報告	1) 日野市発達・教育支援センター「エール」 支援者による利用者見学 6/15 情報交換会 3/26 2) 子ども家庭支援センターの担当者見学 10/12, 3/22 3) 子ども家庭支援センター連絡会（七生中地区） 2/17 4) 学校との連携 日野第三中学校 校長・副校長・担任と顔合わせ 6/24 南平小学校体育館の使用のお願いをしたが実際にはコロナの影響で利用できなかった。 5) 生活保護担当者との利用者面接 9/10 見学 11/26 6) ほっとも管理職情報交換会 8/7, 2/18
事業効果・評価 方向性等	・日野市子ども家庭支援センター、日野市発達・教育支援センター「エール」との関わりは不可欠であり、連携を進めてきているが、今年度からさらに学校との連携が進められることになり、より良い支援に結びつけることが可能になった。

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。			
内容	1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成（年24回）			
実績報告	日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 業務委託：朗読サークルひの			
	1) 実績			
		利用（登録）者数	発行回数	臨時号発行
	2年度	合計 24件	32回 通常号23回 臨時号9回	9回 (4/30, 5/15, 5/25, 6/15, , 7/1, 7/10, 7/21, 8/1, 11/15)
		個人 19人 団体 1団体／5件		
	元年度	合計 29件	24回	—
個人 24人 団体 1団体／5件				
内容	2. 朗読（デージー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）			
実績報告	日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「ひの市議会だより」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 業務委託：朗読サークルひの			
	1) 業務実績			
		発行回数・月		
	2年度	4回 (5/15, 8/15, 11/15, 2/1)		
		個人 19人 団体 1団体／5件		
	元年度	4回 (5/15, 8/15, 11/15, 2/1)		
個人 24件 団体 1団体／5件				
※郵袋は広報ひのとともに作業実施				
事業内容	3. 朗読（デージー）版「暮らしの便利帳 2021」の作成			
実績報告	市内視覚障害者へ「暮らしの便利帳」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの 1) 発行月 令和3年3月			
事業効果・評価方向性等	・視覚障害者への情報保障として、「広報ひの」「市議会だより」および「暮らしの便利帳」音訳版を作成した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初「広報ひの（24			

	回) 」発行予定であったが、「通常版 (23 回) 」 「臨時号 (9 回) 」 の合計 32 回作成した。 ・これまで、A 4 判 ([16 頁 (8 回) ・24 頁 (16 回)] と定型となっていたが、「臨時号」発行等の影響により、A 4 判 [12 頁 (3 回) ・16 頁 (2 回) ・20 頁 (6 回) ・24 頁 (12 回)] 、臨時号 B 4 判 [(2 頁 (6 回) ・4 頁 (2 回) ・8 頁 (1 回)) と不定形となった。 ・臨時号や通常号の発行中止・ページ数削減などのため、日野市 (市長公室) との契約変更手続きを行った。 ・「暮らしの便利帳」発行 (2 年に一度) に伴い、音訳版の作成を行った。
--	---

事業名	障害者就労支援事業
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料、会費、寄附金
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	当会の様々なネットワークを活かし、障害者の就労や社会参加活動等への参加促進に寄与すること。また、障害者就業に関係する団体同士のネットワーク化を図り、連携を図る。
事業内容	1. 日野市障害者就業支援連絡会
実績報告	1) 連絡会への出席 5 回 (7/14, 8/18, 10/13, 12/8, 2/2) 当初予定の 4 月は開催中止、6 月は 7 月へ延期となった。 各団体から障害者就労支援に関する情報交換、および年度下半期に開催する障害者就業支援フェスタの開催可否について検討を行った。結果、例年の形での開催は困難と判断し、パネル展示を開催することとなった。 2) 「障害がある方の就労とライフプランについて知るパネル展 ～障害と向き合い自分らしい人生を送る」 日 時 3 月 1 日 (月曜) ～ 3 月 5 日 (金曜) 場 所 市役所 1 階市民ホール壁面南側 内 容 4 人のモデルについてライフステージごとの気づきやエピソードなど。
事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍で連絡会の各団体が受けている影響について、企業では規模の大小を問わず支援を受けて企業存続や雇用維持をしている状況であること、就労移行支援及び就労継続支援の事業所でも仕事が減少していること、特別支援学校には実習先や就職情報が減少していること等について共有を行った。 ・就労移行支援事業所を運営する NPO 法人では、オンラインの市民活動への障害のある方達の登録者数が増えたという報告があった。 ・パネル展を通じて、障害のある方のライフプランに様々な形があることを発信できた。

事業内容	2. 日野わーく・わーく
実績報告	日野わーく・わーくは、市内の障害福祉サービス事業所が参加するネットワーク。社協は、連絡会や豊田駅北口ショッップ、共同販売会等を側面支援。 1) 連絡会 毎月開催 ※当初予定の4月は開催中止。 2) 広報協力 日野市ボランティア・センター広報紙「ボランティア①インフォメーション」（毎月発行）において、豊田駅北口ショッップのイベント告知を掲載した。
事業効果・評価 方向性等	・各加盟施設で新型コロナウイルス感染症対策のため、2班制による通所人数制限や運営時間短縮等があり、生産活動に影響があった。 ・年8回開催していた豊田駅北口ショッップのイベントは開催方法を変更し、店内で1週間かけて加盟施設の活動PRを行う方法で開催することとなった。
事業内容	3. 日野市障害者週間イベント「いっしょに」
実績報告	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方が来場する本イベントは中止となった。

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	参加費、利用料、補助金、繰越金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等の活動や体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで、市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。				
内容	1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援				
実績報告	1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型も含めた一体的な相談に対応している。				
	2) 活動実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日野市とも協議した上で利用会員への必要な支援は継続しながら、緊急事態宣言発令期間中の4,5月は協力会員による活動を休止した。				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	月平均利用者数 (4,5月を除いた数)	会員数	月平均活動者数 (4,5月を除いた数)
	2年度	483人	112人 (127人)	146人	46人 (52人)
	元年度	492人	148人	154人	66人
	※月平均は小数点以下四捨五入。				
	②延べ利用時間と延べ利用件数				
		利用件数		利用時間	
2年度	4,278件		6,017 時間		
元年度	5,788件		8,726.5 時間		
③サービス内容					
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	
2年度	1,398件	175件	149件	173件	
元年度	1,688件	157件	219件	190件	
3) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた活動 緊急事態宣言解除後に協力会員による活動を再開するにあたり、利用会員					

	および協力会員一人ひとりに再開への意思確認を行った上で、感染症予防のための協力事項を作成して活動前の検温、マスク着用等の咳エチケット、こまめな手洗い、3密回避等、会員相互の協力による予防策を取った。									
事業効果・評価 方向性等	- 新型コロナウイルス感染症は未知のウイルスによる感染症のため、会員の安全を最優先した対応を行った。介護保険事業と異なり、国や都からの支援は受けられない中ではあったが、会員やその家族、ケアマネジャー等支援者、日野市の協力により感染症患者を出さずに事業継続することができた。 - 利用会員と協力会員双方から感染症への不安を訴える声があったが、それを表すように利用会員数が2%、協力会員数が5%の減少だったのに対し、活動の利用件数が26%、利用時間が31%の減少となり、年度を通じて利用を差し控える状況が見られた。									
内 容	2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援									
実績報告	1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた活動 1.-3) に同じ。									
	2) 感染予防のための物品提供 物資が限られていたため、食事のしたく、外出付添等利用会員との対人間隔を取ることが困難な活動を行う協力会員向けに、不足しているマスクやゴム手袋等の物品提供を行った。									
	3) 協力会員情報交換会 普段は顔を合わせることが少ない協力会員同士が日頃の活動について情報交換できる機会として開催。									
	<table><tr><td>開催日</td><td>場 所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>12/3</td><td>多摩平交流センター</td><td>7 人</td></tr><tr><td>12/4</td><td>福祉支援センター</td><td>5 人</td></tr></table>	開催日	場 所	参加者	12/3	多摩平交流センター	7 人	12/4	福祉支援センター	5 人
	開催日	場 所	参加者							
12/3	多摩平交流センター	7 人								
12/4	福祉支援センター	5 人								
4) 協力会員研修会 協力会員の資質向上のために開催。										
	<table><tr><td>開催日</td><td>場 所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>8/28</td><td>日野市介護人材育成研修事業 福祉職のためのzoom活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員</td><td>1 人</td></tr><tr><td>9/2</td><td>日野市介護人材育成研修事業 福祉職のための zoom 活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員</td><td>1 人</td></tr></table>	開催日	場 所	参加者	8/28	日野市介護人材育成研修事業 福祉職のためのzoom活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員	1 人	9/2	日野市介護人材育成研修事業 福祉職のための zoom 活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員	1 人
開催日	場 所	参加者								
8/28	日野市介護人材育成研修事業 福祉職のためのzoom活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員	1 人								
9/2	日野市介護人材育成研修事業 福祉職のための zoom 活用講座 講師：日野市ボランティア・センター職員	1 人								
事業効果・評価 方向性等	- 新型コロナウイルス感染症への不安の声は協力会員からもあったが、ほとんどの協力会員が6月より活動を再開してくれた。 - 協力会員情報交換会では、コロナ禍の活動において、マスク着用ができない利用会員もいる中で感染が起きないようにする工夫の話があった一方で、利用会員から買い物時に特定の銘柄の商品を念押しされたという話もあり、利用会員それぞれの生活への希望をしっかりと受け止めている普段と変わらない活動の様子が伝わってきた。									

内 容	3. 会員募集の強化																					
実績報告	ひの社協だより及び広報ひの等を活用して新規の協力会員募集のための事業説明会を行った。																					
	1) 事業説明会																					
	<table><tr><th>開催日</th><th>開催日</th><th>参加者</th></tr><tr><td>10/5</td><td>多摩平交流センター</td><td>2人</td></tr><tr><td>10/13</td><td>中央福祉センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>10/21</td><td>福祉支援センター</td><td>2人</td></tr><tr><td>2/18</td><td>中央福祉センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>2/24</td><td>福祉支援センター</td><td>2人</td></tr><tr><td>3/2</td><td>多摩平交流センター</td><td>4人</td></tr></table>	開催日	開催日	参加者	10/5	多摩平交流センター	2人	10/13	中央福祉センター	1人	10/21	福祉支援センター	2人	2/18	中央福祉センター	1人	2/24	福祉支援センター	2人	3/2	多摩平交流センター	4人
	開催日	開催日	参加者																			
	10/5	多摩平交流センター	2人																			
	10/13	中央福祉センター	1人																			
	10/21	福祉支援センター	2人																			
	2/18	中央福祉センター	1人																			
2/24	福祉支援センター	2人																				
3/2	多摩平交流センター	4人																				
2) 入会者数 10人																						
事業効果・評価 方向性等	・たかはた圏域で活動できる協力会員が不足していたため、特に募集を行ったところ、初めて地域活動に参加する方や、他にも複数の活動経験がある方や仕事の合間を縫って活動する方等、様々な方達が手を挙げてくれた。																					
内 容	4. 地域での支えあいの仕組みづくり																					
実績報告	1) クラブ活動																					
	協力会員と利用会員の希望者が行っている自主的な活動。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令以降はどのクラブも活動休止していた。																					
	女性限定麻雀クラブ：毎月第2,4月曜日午後に定期的に集まり、複数の卓で交代しながら健康麻雀を行っている。																					
	将棋クラブ：定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動を開始した。																					
	英会話クラブ：仕事での経験を活かしたいと申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会を行っている。																					
	料理クラブ：参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者とメニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場となっている。																					
	2) おしゃべりサロン																					
	利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としての活動。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上半期は開催なし。																					
	<table><tr><th>開催日</th><th>場所</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>11/27</td><td>福祉支援センター</td><td>コロナ禍の健康づくり</td><td>10人</td></tr><tr><td>12/22</td><td>福祉支援センター</td><td>お楽しみ映画会</td><td>延期</td></tr></table>	開催日	場所	内容	参加者数	11/27	福祉支援センター	コロナ禍の健康づくり	10人	12/22	福祉支援センター	お楽しみ映画会	延期									
	開催日	場所	内容	参加者数																		
11/27	福祉支援センター	コロナ禍の健康づくり	10人																			
12/22	福祉支援センター	お楽しみ映画会	延期																			
3) はつらつ体操																						
毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）を開催。昨年度3月に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場利用ができず、6月までは開催なし。																						
講師：木村明美 氏（介護予防指導士）																						

	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	4/24	中止	5/22	中止	6/26	中止
	7/31	13人	8/28	11人	9/18	10人
	10/23	12人	11/27	10人	12/18	13人
	1/22	12人	2/26	10人	3/26	12人
	4) 会報誌「ねっとわーく」の発行 毎月10日に約630部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員および利用会員の暮らしや活動の充実を促した。1月より隔月発行に変更。					
事業効果・評価 方向性等	- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラブ活動、おしゃべりサロン等が活動できない中、会場利用が再開された7月より感染症予防対策を取りながらはつらつ体操を再開した。参加した会員からは久しぶりの交流や身体を動かす機会を喜ぶ声が聞かれた。 - おしゃべりサロンの開催についても希望する声があるため、緊急事態宣言など感染の状況に柔軟に対応しながら、開催可能なタイミングでの開催を目指した。 - 必要最小限の訪問しかできないため会員とのコミュニケーションが取りにくくなっているため、会報誌ねっとわーくに脳トレの記事を取り入れてコミュニケーションのきっかけづくりを行った。					

事業名	第1号訪問事業生活援助型																														
事業形態	介護保険事業（日野市）																														
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）																														
担当係	在宅サービス係																														
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる																														
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。																														
内容	1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助																														
実績報告	平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除・洗濯・買い物・食事づくり等の生活援助を行う。																														
	1) 実績																														
	<table><tr><td></td><td>新規契約</td><td>利用者数</td><td>利用時間</td><td>終了（解約）</td></tr><tr><td>4月</td><td>2</td><td>14</td><td>61</td><td>0</td></tr><tr><td>5月</td><td>1</td><td>14</td><td>58</td><td>0</td></tr><tr><td>6月</td><td>0</td><td>14</td><td>68</td><td>1</td></tr><tr><td>7月</td><td>0</td><td>14</td><td>64</td><td>0</td></tr><tr><td>8月</td><td>0</td><td>13</td><td>57</td><td>0</td></tr></table>		新規契約	利用者数	利用時間	終了（解約）	4月	2	14	61	0	5月	1	14	58	0	6月	0	14	68	1	7月	0	14	64	0	8月	0	13	57	0
		新規契約	利用者数	利用時間	終了（解約）																										
	4月	2	14	61	0																										
	5月	1	14	58	0																										
	6月	0	14	68	1																										
7月	0	14	64	0																											
8月	0	13	57	0																											

	9月	0	13	61	0
	10月	2	14	61	0
	11月	0	14	58	0
	12月	0	14	67	1
	1月	0	14	60	0
	2月	0	14	56	0
	3月	1	15	71	0
	合計	6	168	742	2
	2) 登録ヘルパー数				
2年度		23人			
元年度		25人			
内 容	2. 日常生活圏域ごとの相談員配置				
実績報告	日野市介護保険事業計画における4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）ごとに地域担当相談員（職員）を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、関係機関等との調整を行う。				
事業効果・評価 方向性等	・事業開始以前に想定していた5,6人という利用者数のほぼ倍の人数で推移している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ヘルパーが検温や手洗い、マスク着用を徹底するとともに、利用者にもサービス提供前の検温や咳エチケット等を依頼して感染防止対策を行った。 ・緊急事態宣言発令中も、サービスは予定通りに行った。				

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業																						
事業形態	補助事業（日野市）																						
財源内訳	補助金、利用料																						
担当係	地域支援係																						
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																						
目的	公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。																						
事業内容	1. 在宅高齢者や障害者の外出支援																						
実績報告	日野市有償福祉運送運営協議会の協議を経て、国土交通省に登録し、有償旅客運送を実施。車椅子対応リフト付きワゴン車（福祉車両）で、市内在住の移動困難となった高齢者や障害者を、運転ボランティアが自宅から目的地まで搬送。要件を満たす登録者（市民税非課税で要介護3・4・5または下肢か体幹機能障害の障害者手帳1級か2級所持）が利用した場合、利用料金の一部を日野市が補助。 1) 実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>車両</th><th>運転 ボランティア</th><th>利用 登録者</th><th>利用件数</th><th>走行距離</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年度</td><td>8台</td><td>21人</td><td>357人</td><td>2,373件</td><td>22,217km</td></tr> <tr> <td>元年度</td><td>8台</td><td>16人</td><td>377人</td><td>2,547件</td><td>24,531km</td></tr> </tbody> </table>						車両	運転 ボランティア	利用 登録者	利用件数	走行距離	2年度	8台	21人	357人	2,373件	22,217km	元年度	8台	16人	377人	2,547件	24,531km
	車両	運転 ボランティア	利用 登録者	利用件数	走行距離																		
2年度	8台	21人	357人	2,373件	22,217km																		
元年度	8台	16人	377人	2,547件	24,531km																		
事業効果・評価 方向性等	・移動困難者に対して有効な事業であり、市内でも最大規模で運行し利用者や福祉関係者から支持を得ているが、中長期的に今後の事業のあり方を検討していく。 ・複数職員による事務分担、効率化や改善を図っていく。 ・今年度は新型コロナウイルス流行により、利用者に対し利用を控えるお願いをしているため、利用件数は減少している。さらに、医療機関から断られる等の理由でキャンセルも増えている。しかし年度を通じて休むことなく運行した。																						
事業内容	2. 見守り体制の強化・連携																						
実績報告	1) 運転協力者連絡会 毎月開催 利用者支援を行う運転協力者と情報共有を図り、よりよい利用者支援を目指した。（4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）																						
事業内容	3. 相談支援																						
実績報告	利用希望者に対し当該地区担当者が訪問し、事業の説明・申請受付をしている。また訪問時、当事業以外の事案についても相談、他事業の紹介等も行っている。																						
事業効果・評価 方向性等	・当事業が利用できる方には担当ケアマネージャー等の支援者がいるが、支援者の知らないインフォーマルサービス等の情報提供をしていく。 ・福祉関連職の方に当事業の内容を理解、周知をすすめる。																						

事業内容	4. 安全管理（運転協力者への講習義務付け）									
実績報告	1) 福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習 新規に加入した運転ボランティアが、東京ハンディキャブ連絡会や全国移動サービスネットワークの主催する講習会に参加。									
	<table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>11/14-15</td><td>中央福祉センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>3/14</td><td>ヘルプ協会たちかわ</td><td>4人</td></tr></table>	開催日	場所	参加者	11/14-15	中央福祉センター	1人	3/14	ヘルプ協会たちかわ	4人
	開催日	場所	参加者							
	11/14-15	中央福祉センター	1人							
	3/14	ヘルプ協会たちかわ	4人							
2) 患者等搬送乗務員講習・再講習 運転協力者が利用者の状態の理解と緊急時の適切な対応ができるよう、東京防災救急協会が主催する講習会に参加。										
<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>12/11</td><td>再講習</td><td>麴町消防署</td><td>4人</td></tr></table>	開催日	内容	場所	参加者	12/11	再講習	麴町消防署	4人		
開催日	内容	場所	参加者							
12/11	再講習	麴町消防署	4人							
3) 安全運転者講習会 例年3月の運転協力者連絡会にて、日野警察署から署員を講師として招き実施しているが、今年度についても 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。										
事業効果・評価 方向性等	・車両のメンテナンス等を行い、安全な事業運営に努める。また経年劣化した車両については、順次廃車、買い替え等検討する。 ・運行が月曜日から金曜日まで週5日あり、事故に関しては細心の注意が必要である。講習は運転協力者自身の振り返りも含め、継続していく必要がある。									
事業内容	5. 関係機関との情報共有・連携強化									
実績報告	1) 日野市有償福祉運送運営協議会 道路運送法による登録の更新を行うため、市が主催し地域の関係者がその運送の必要性を協議する会議。令和2年度は書面開催(8月)									
事業効果・評価 方向性等	・年に一度の運営協議会なので、情報共有や連携が難しい。 ・行政側も運営協議会は福祉政策課、補助金請求は高齢福祉課と分担されているため情報共有や連携が難しい。利用者支援には行政との連携は必要不可欠であるため、どのような連携が図れるのか検討する。									
内 容	6. 中長期的な事業の見直し・検討									
実績報告	1) 在宅サービス部門への統合を検討 社協の在宅サービス部門へ事業をまとめて行くよう検討を進めて行く。 2) 事業内容についての精査 車両数、運転協力者とのバランスを考慮し、適正値になるよう仕組みを精査して行く。									
事業効果・評価 方向性等	・社協の在宅系サービスを在宅サービス係に集約することを進めて行く。 ・経年劣化した車両の廃車、買い替えを進めて行く。									

事業名	高齢者食事宅配サービス事業
事業形態	受託事業（日野市）、独自事業
財源内訳	受託金、歳末たすけあい配分金
担当係	在宅サービス係

地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる					
目 的	身体状況や疾病等により買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食弁当を提供し、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時は利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。					
内 容	1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供					
実績報告	1) 新規申込者数					
		申込者数	内訳			
	2年度	142人	ひとり暮らし：79件 高齢者世帯：42件 日中ひとり：13件 その他：8件			
	元年度	131人	ひとり暮らし：82件 高齢者世帯：57件 日中ひとり：13件 その他：11件			
内 容	2. 利用者の見守り・安否確認の実施					
実績報告	1) 配食事業者 5事業所（業務委託） ①マザアス ②豊かな里 ③夢ふうせん ④ベルハート・エール ⑤福祉カフェテリア					
	2) 実績					
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数	安否確認結果
	2年度	3,806人	59,782食	①20,264食 ② 8,671食 ③ 8,006食 ④ 8,107食 ⑤14,734食	200件	無事 195件 救急 2件 その他 3件
	元年度	3,745人	57,885食	①21,193食 ② 8,147食 ③ 6,788食 ④ 5,613食 ⑤16,144食	225件	無事 221件 救急 4件 その他 0件
	※「安否確認対応件数」および「安否確認結果」はR1.8月分より集計開始					
事業効果・評価 方向性等	・安否確認体制の整備から1年が経ち、委託先の配食事業者から当会への引継がスムーズに移行できるようになってきた。利用者の日々の生活面も見守りながら、必要に応じて利用者の家族やケアマネジャー等の支援者につないだ。 ・配食事業者の配達員による安否確認の結果、医療につなげたケースが2件、亡くなっていたのを早期に発見できたケースが3件あった。					
内 容	3. 安定したサービス体制の確保					
実績報告	1) 情報交換会 1回 (7/13) 配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。					
	2) 配食事業者調理施設訪問 配食事業者から調理や配達の工程等について説明を受けた。					
	実施日	見学先				
	7/29	夢ふうせん、ベルハート・エール、福祉カフェテリア				

	※マザアス、豊かな里は外部からの施設内立ち入りができなかったため、未実施。 3) 新型コロナウイルス感染拡大対策 配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。また、一部の配食事業者では廃棄できる容器での配食に切り替えた。
事業効果・評価 方向性等	・配食事業者で新型コロナウイルス感染症感染者があった場合に備え、他の4事業者で補完しながら事業継続するための調整を行った。

事業名	車椅子貸出事業	
事業形態	独自事業	
財源内訳	利用料	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる	
目 的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。	
内 容	1. 利用状況の把握、在庫管理	
実績報告	1) 貸出実績	
		貸出件数
	2年度	143件
	元年度	184件
事業効果・評価 方向性等	・市民の方に広く浸透している社協サービスの一つである。 ・貸出を行っている日野事務所及び高幡事務所の在庫管理及び点検を徹底し、市民の方が貸出を希望する際、車椅子が不足しているといった状況が無いよう工夫した。 ・以前から問い合わせや貸出件数が減少傾向にあるが、今年度は新型コロナウイルス感染を危惧した外出自粛の影響によって貸出件数が減少した。	

事業名	コミュニケーション支援事業	
事業形態	補助事業（日野市）	
財源内訳	障害福祉サービス等補助金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる	
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。	

内 容	1. 利用者支援															
実績報告	1) 利用登録者 <table><tr><td></td><td>登録者数（うち新規契約者数）</td></tr><tr><td>2年度</td><td>72人（4人）</td></tr><tr><td>元年度</td><td>73人（4人）</td></tr></table> 2) 手話通訳者 <table><tr><td></td><td>登録者数</td></tr><tr><td>2年度</td><td>18人</td></tr><tr><td>元年度</td><td>15人</td></tr></table> 3) 利用者懇談会 新型コロナウイルス感染症の影響から開催なし		登録者数（うち新規契約者数）	2年度	72人（4人）	元年度	73人（4人）		登録者数	2年度	18人	元年度	15人			
	登録者数（うち新規契約者数）															
2年度	72人（4人）															
元年度	73人（4人）															
	登録者数															
2年度	18人															
元年度	15人															
事業効果・評価 方向性等	・窓口では通訳依頼に加えて、各種相談や支援を適宜行っている。専門的な内容の相談も多く、日野市役所に常駐している設置通訳者へ繋がるよう案内をしているが社協職員で対応するケースも多い。 ・昨年の登録手話通訳者のうち 1 人が辞め、昨年度の全国統一試験合格者 4 人が新たに登録したため、18 名の手話通訳者が在籍している。 ・平日日中に活動できる通訳者が少ないため、特定の通訳者への負担が大きい状況になっている。通訳者の養成・確保が急務の課題である。 ・事業の利用契約書の文言が難しく、利用者によっては正しく理解を得られない可能性があるため、今後検討を行っていきたい。															
内 容	2. 手話通訳者等の派遣・調整															
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。 1) 実績 （ ）内は東京都手話通訳等派遣センター数 <table><tr><td></td><td>利用者数</td><td>利用件数</td><td>通訳者数</td><td>派遣回数</td></tr><tr><td>2年度</td><td>26人</td><td>319件（29件）</td><td>18人</td><td>377回（36回）</td></tr><tr><td>元年度</td><td>39人</td><td>466件（84件）</td><td>15人</td><td>643回（147回）</td></tr></table>		利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数	2年度	26人	319件（29件）	18人	377回（36回）	元年度	39人	466件（84件）	15人	643回（147回）
	利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数												
2年度	26人	319件（29件）	18人	377回（36回）												
元年度	39人	466件（84件）	15人	643回（147回）												
事業効果・評価 方向性等	・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講演会や会議等が中止になり、依頼件数が減少した。 ・手話通訳依頼の半数以上が通院や訪問介護支援等、生活に必要不可欠な依頼だった。 ・手話通訳において、通訳者の表情や口の形を見ることは大切な要素であるため、マスクの着用等の感染対策と通訳活動の折り合いについて、通訳者と検討をしながら活動を行った。 ・新たにオンラインを利用した遠隔手話通訳の運用について検討をし、ZOOM 等の WEB 会議システムを利用した通訳依頼の対応を行った。															

内 容	3. 手話通訳者の資質向上																		
実績報告	今年度新たに日野市登録手話通訳者として契約した4人及び昨年度契約した2人に対して、新人（フォローアップ）研修を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/2</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr> <td>7/8</td><td>日野青年会議所オンライン講演会（現場実習）</td></tr> <tr> <td>7/9</td><td>聞き取り表現 7/8振り返り</td></tr> <tr> <td>7/30</td><td>読み取り練習</td></tr> <tr> <td>8/13</td><td>聞き取り表現</td></tr> <tr> <td>8/27</td><td>読み取り練習</td></tr> <tr> <td>9/10</td><td>聞き取り練習</td></tr> <tr> <td>9/24</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>	開催日	内容	7/2	オリエンテーション	7/8	日野青年会議所オンライン講演会（現場実習）	7/9	聞き取り表現 7/8振り返り	7/30	読み取り練習	8/13	聞き取り表現	8/27	読み取り練習	9/10	聞き取り練習	9/24	まとめ
開催日	内容																		
7/2	オリエンテーション																		
7/8	日野青年会議所オンライン講演会（現場実習）																		
7/9	聞き取り表現 7/8振り返り																		
7/30	読み取り練習																		
8/13	聞き取り表現																		
8/27	読み取り練習																		
9/10	聞き取り練習																		
9/24	まとめ																		
事業効果・評価 方向性等	・例年の研修では、現場実習としてイベントや会議等を活用していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により現場実習ができなかった。 ・日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会の全面的な協力のもと研修を実施した。今後も連携を図り、手話通訳者の技術向上に努める。																		
内 容	4. 関係機関との連携																		
実績報告	1) 議会事務局担当者との打合せ 1回（11/5） 12月議会に向け、事前に準備してもらう資料の内容・受け渡しについてや、コロナ禍における対応についてを話し合った。 2) 手話通訳事業に関する意見交換会への出席 1回（3/11）																		
事業効果・評価 方向性等	・障害福祉課、日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、社協が集まり、事業運営や内容について意見交換をはかった。 ・障害者差別解消法や日野市障害者差別解消推進条例ができ、 ・遠隔手話サービスや感染症関連、その他多くの課題が挙がったため、次年度以降も継続し話し合いを進めていく。																		

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター				
事業形態	独自事業				
財源内訳	参加費、手数料、会費、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金				
担当係	ボランティア係				
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる				
目的	地域でボランティアを必要とする人と、地域に貢献したい人をつなげるとともに、まちづくりを担う人材の育成・発掘を行う。また、多様な情報ネットワークを活用し、ボランティア情報の収集・発信を行う。				
内容	1. ボランティア相談・コーディネート				
実績報告	1) ボランティアコーディネート ボランティア活動希望者からの相談や、ボランティアを必要とする福祉施設等からの依頼を受け、コーディネート（仲介）を行った。				
	①ボランティア登録者・活動者数				
		個人		団体	
		登録者	活動者	登録団体	活動団体
	2年度	314人	延べ2人	71団体	延べ3団体
	元年度	364人	延べ408人	79団体	延べ84団体
	※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。				
	②コーディネート結果				
		ニード受付	成立		
	2年度	12件	3件		
元年度	299件	214件			
2) 窓口相談業務					
①ボランティア窓口相談員 窓口相談員 13 人には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4 月から自宅待機をお願いしていた。6/15 から登録ボランティアの未更新者の確認作業や電話訪問、今後の活動の意思確認を 1 人の相談員が半日交替で実施した。その後も施設からのボランティア依頼はなく、8 月から再度自宅待機とした。					
②窓口相談員連絡会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本来毎月開催のところ、7 月に 1 回のみ開催。現在の施設のボランティア募集状況等を共有した。 その後は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。					
③企画調整会議（休止中） ボランティアセンターの事業の振り返りや企画を行う会議だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催しなかった。					
3) ボランティアセンター相談受付システムの運用 登録ボランティアに対して、今年度のボランティア活動状況や今後の活動の意思確認を行い登録情報の更新を行った。					

事業効果・評価 方向性等	・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福祉施設でのボランティア受入が休止となり依頼件数が大幅に減少した。また、ボランティア活動を行うことによる新型コロナウイルス感染を不安視してか新規登録者も激減し、ボランティアコーディネート事業はほぼ休止状態にある。 ・対面でのボランティア活動が依然として困難であることから、オンライン等を活用した新たなボランティアの形を模索していきたい。			
内 容	2. 多様なネットワークの構築			
実績報告	1) 第18回ボランティア交流会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） 2) 市民活動団体との連携 ①まちづくり市民フェア2020実行委員企画の参画 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通常開催は中止。 新たな取り組みを検討するため、まちづくり市民フェア2020の在り方検討会を発足し、9月から検討を開始した。 コロナ禍でも、これまでのあゆみを止めることの無く、市民活動の紹介をするため、70団体が参加し「市民活動ムービーカタログ」の作成、2次元コードをスマートフォン等で読み取り、動画を閲覧できるようにした。また、これまで協賛をいただいていた店舗の支援も兼ねてカタログチラシの裏面に70店舗のPR記事を掲載した。 配布先：市内小中学校の全生徒、市内全域に新聞折り込み広告、参加団体、参加店舗、公共施設等 ②まち活（中止） ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした交流イベント。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされた。			
	開催日	内容	場所	参加者
	4/19	【第1部】経験者は語る！ ①人生は「2周目」からが面白い？ (北川弘昭 氏) ②切り絵で楽しみが増えた！ (永瀬陽二 氏) ③やりがい求めて思わぬ収穫 (小松久男 氏) ④ボランティアで輝く毎日 (今城則子 氏) ⑤地域に温かい風を！ (矢崎 功 氏) 【第2部】交流会	新町交流センター	中止
	③「みんなの遊・友ランド」企画・運営協力（中止） 毎年6月に開催される、障害の有無に関わらず子どもたちが風船遊びを楽しむイベント。例年は企画・広報・ボランティア対応・当日運営に協力しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。 ④日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会への参加			

⑤ご近所会議

中央公民館、ひの児童館、日野市ボランティア・センター、日野図書館による
連携会議

開催日	内容	場所
4/16	情報共有	中央公民館
6/25	情報共有、七夕企画	
7/15	情報共有、七夕企画ふりかえり	
8/12	情報共有、ご近所シネマ企画	
9/16	情報共有、ご近所絵本展企画	
10/14	情報共有、児童館のハロウィン企画について	
11/11	情報共有、今後のゆるカフェについて	
12/23	手作り絵本展企画、今後のゆるカフェについて	
1/20	手作り絵本展企画、ひの宿ひな巡り企画	
2/10	手作り絵本展報告、ひの宿ひな巡り企画	
3/26	コロナ対策および各館事業の情報共有	

3) 大学との連携強化

①東京都立大学スポーツボランティア事前学習 (中止)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

②明星大学ぼらチャレンジ審査員 (中止)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

③多摩地区の大学と地域によるネットワーク (ボラネット多摩)

開催日	内容	参加者
6/20	ボラネット多摩会議 (オンライン企画開催に向けての学生および職員による打ち合わせ)	実践女子大学、明星大学 中央大学、東京都立大学 法政大学、地域協働課 日野市ボランティア・センター
10/22		
11/19		
12/1		
12/16		
12/21		
1/8		
2/4		
2/14	ボラネット多摩オンライン企画「大学生ボランティア活動報告会&イベント2021〜被災地と多摩地域の架け橋〜」 第1部トークセッション (YouTube) 視聴者 約80人	

④東京都立大学ボランティアセンターへの協力

開催日	内容	参加者
12/10	東京都立大学スポーツボランティアプログラム 「大学生と一緒に!おうちでスポーツ交流会」	3人

4) 他団体との連携強化

①NPO法人フードバンクTAMA講演会 (中止)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

	②3月19日に特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会とのボランティア活動並びに地域福祉活動相互連携協定の締結																			
事業効果・評価 方向性等	・例年様々な機関と連携して行ってきたイベントや事業が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により軒並み中止となってしまった。 ・市民活動フェアでは、新型コロナウイルス感染拡大下の中でも市民活動を知ってもらう機会の提供をする為、「市民活動ムービーカタログ」の作成をして多くの方に発信することが出来た。 ・例年行っているボラネット多摩の企画に関しても、東日本大震災の10年のあゆみを発信するため、オンライン会議とオンライン動画を活用して、多くの方に発信することが出来た。 ・以上のように、新型コロナウイルス感染拡大下の中でも出来る事を関係団体や市民や学生と共に考え、これまでにない手法を使い実施することにより成果を出せた。 ・今まで続けてきた取り組みが来年度以降途絶えてしまわないよう、事業にかける市民の想いや開催に必要なノウハウを引き継いでいきたい。																			
内 容	3. ボランティア情報の発信																			
実績報告	1) 情報紙「ボランティア・インフォメーション」の発行 発行日：毎月5日 発行数：各月4000部 掲載内容：①ボランティア募集情報 ②市内のイベント・講座情報 ③市民活動団体の紹介 ④助成金情報 等 配布先：ボランティア登録者、市役所、図書館、郵便局、福祉施設 飲食店、スーパー 等 配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便 2) SNS (Facebook、Twitter、公式LINE) の運営 イベント開催時等で随時更新 3) 配布ボランティア感謝の集い(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)																			
事業効果・評価 方向性等	・情報誌「ボランティア・インフォメーション」は、ボランティア登録者への配布のみならず、スーパーや図書館等への配架を通して、より幅広い層の読者を獲得し、ボランティアの輪を広げることを目指す。 ・今年度は紙媒体だけでなく、Facebook、Twitter、公式LINE、社協ホームページ等オンラインでの情報発信も積極的に行った。その結果、講座の参加者が増加する等一定の手ごたえが得られている。																			
内 容	4. 福祉体験講座																			
実績報告	1) 出張福祉体験講座 体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、ボランティア等と共に講座を実施。 <table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td><td>当事者講師</td><td>対象者</td></tr><tr><td>9/25 10/2</td><td>車いす・ブラインドウォーク体験・高齢者疑似体験</td><td>日野第三中学校</td><td>なし</td><td>ボランティア部 12人</td></tr><tr><td>10/8</td><td>車いす体験</td><td>日野第五学校</td><td>なし</td><td>4年生 120人</td></tr></table>					開催日	内容	場所	当事者講師	対象者	9/25 10/2	車いす・ブラインドウォーク体験・高齢者疑似体験	日野第三中学校	なし	ボランティア部 12人	10/8	車いす体験	日野第五学校	なし	4年生 120人
開催日	内容	場所	当事者講師	対象者																
9/25 10/2	車いす・ブラインドウォーク体験・高齢者疑似体験	日野第三中学校	なし	ボランティア部 12人																
10/8	車いす体験	日野第五学校	なし	4年生 120人																

	12/3	車いす・ブラインドウォーク体験	東光寺小学校	なし	4年生 52人
	1/18	障害福祉課より日野市障害者差別解消推進条例についての解説、当事者の講話、車いす体験、ブラインドウォーク体験、高齢者疑似体験	七生公会堂	菊地美由紀 氏 宮野谷義傑 氏 (録画)	七生公会堂及び 市民会館の職員 16人
	2/25	点字講座	夢が丘小学校	菊地美由紀氏	4年生 64人
	3/22	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第二中学校	菊地美由紀 氏 宮野谷義傑 氏 (録画・オンライン)	1年生 151人
	3/23	車いす・ブラインドウォーク体験	三沢中学校	菊地美由紀 氏 宮野谷義傑 氏 (録画・オンライン)	1年生 244人
事業効果・評価 方向性等	・小中学校での出張福祉体験講座は、参加者同士の距離が近く、児童・生徒の安全確保が困難であるため、今年度は開催を見送る学校が大半となっている。 ・上半期に実施した福祉体験講座では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当事者講師は依頼しなかった。 ・下半期は当事者講師には、感染を避けるためにオンラインや録画での対応をお願いすることで、安全を確保した上での体験談の提供が可能となった。				
内 容	5. 傾聴ボランティアの養成・活動支援				
実績報告	傾聴ボランティア入門講座の修了者を対象に、傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。				
	1) 活動先の紹介 例年は、高齢者施設や個人宅から多数寄せられる傾聴依頼と、傾聴ボランティアとの仲介を行っている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため依頼はほとんど寄せられず、相談があっても感染予防のため紹介できなかった。				
	2) 情報交換会 1回開催（本来は奇数月第3金曜日開催） ①傾聴の活動の情報交換を目的に、情報交換会を実施。 今年度は新型コロナウイルスの影響により7月まで活動を見合わせた。				
	開催日	内容		場所	
	9/18	①勉強会「認知症を学ぶ」 認知症のドキュメンタリー動画2本を鑑賞 ②近況報告		中央福祉センター	
	1/15	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
	3/19	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月に延期			
	3) 傾聴ボランティア入門講座 「聴くこと（傾聴）」の意味、大切さを理解し、実践していくためのボランティア講座を開催した。				

	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>2/12</td><td>高齢者の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏</td><td rowspan="4">40人 (会場20人) (オンライン20人)</td></tr><tr><td>2/19</td><td>傾聴の基本 講師：日野市ボランティア・センター 堤 彩</td></tr><tr><td>2/26</td><td>認知症のある人の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏</td></tr><tr><td>3/5</td><td>心の病の理解 講師：多摩総合精神保健福祉センター 田吉純子 氏</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	2/12	高齢者の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏	40人 (会場20人) (オンライン20人)	2/19	傾聴の基本 講師：日野市ボランティア・センター 堤 彩	2/26	認知症のある人の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏	3/5	心の病の理解 講師：多摩総合精神保健福祉センター 田吉純子 氏										
開催日	内容	参加者																					
2/12	高齢者の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏	40人 (会場20人) (オンライン20人)																					
2/19	傾聴の基本 講師：日野市ボランティア・センター 堤 彩																						
2/26	認知症のある人の理解 講師：介護老人保健施設ロベリア 宮本芳恵 氏																						
3/5	心の病の理解 講師：多摩総合精神保健福祉センター 田吉純子 氏																						
事業効果・評価 方向性等	・高齢化や核家族化に伴い近年需要が高まっている傾聴活動だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度上半期は足踏みせざるを得なかった。感染が落ち着き次第、順次活動を再開していきたい。 ・傾聴ボランティア入門講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場とオンラインのハイブリッド型での開催とした。ハイブリッド形式にしたところ定員の半数はオンラインで参加するなど、オンラインを活用しての参加者が定着し始めてきた。 ・例年は、傾聴ボランティア入門講座の最終回に施設見学会を行っているが、福祉施設における見学者の受入が難しい状況が続いているため、見学会の開催を見合わせた。今後も受講者のモチベーションを維持できるよう、定期的な情報交換会の開催等を通してフォローを行っていく。																						
内 容	6. 夏の体験ボランティア																						
実績報告	例年開催している小学生以上の学生及び一般の方を対象とした夏休み期間中のボランティア体験学習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の福祉施設等が受け入れを見合わせ、やむなく中止となった。 ボランティア活動が必須である学生には個別対応を行った。 1) 夏のオンライン体験の実施 例年開催している夏の体験ボランティアの代替として実施した。 <table><tr><th>内容</th><th>開催日</th><th>参加者</th></tr><tr><td rowspan="2">異世代交流企画「Zoom で暑中見舞い」</td><td>8/11</td><td>6 人</td></tr><tr><td>8/22</td><td>6 人</td></tr><tr><td>「車いすの生活ってどんなかんじ？」 講師 藤田博文 氏 (肢体不自由当事者)</td><td>8/18</td><td>8 人</td></tr><tr><td>「耳が聞こえないってどういうこと？」 講師 堀場照美 氏 (聴覚障害当事者)</td><td>8/19</td><td>27 人</td></tr><tr><td>「目が見えないってどういうこと？」 講師 菊地美由紀 氏 (視覚障害当事者)</td><td>8/20</td><td>8 人</td></tr><tr><td rowspan="2">防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災</td><td>8/17</td><td>10 人</td></tr><tr><td>8/19</td><td>6 人</td></tr></table>	内容	開催日	参加者	異世代交流企画「Zoom で暑中見舞い」	8/11	6 人	8/22	6 人	「車いすの生活ってどんなかんじ？」 講師 藤田博文 氏 (肢体不自由当事者)	8/18	8 人	「耳が聞こえないってどういうこと？」 講師 堀場照美 氏 (聴覚障害当事者)	8/19	27 人	「目が見えないってどういうこと？」 講師 菊地美由紀 氏 (視覚障害当事者)	8/20	8 人	防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災	8/17	10 人	8/19	6 人
内容	開催日	参加者																					
異世代交流企画「Zoom で暑中見舞い」	8/11	6 人																					
	8/22	6 人																					
「車いすの生活ってどんなかんじ？」 講師 藤田博文 氏 (肢体不自由当事者)	8/18	8 人																					
「耳が聞こえないってどういうこと？」 講師 堀場照美 氏 (聴覚障害当事者)	8/19	27 人																					
「目が見えないってどういうこと？」 講師 菊地美由紀 氏 (視覚障害当事者)	8/20	8 人																					
防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災	8/17	10 人																					
	8/19	6 人																					
事業効果・評価 方向性等	・夏の体験ボランティアは好評につき年々参加者が増加していたが (2015 年 217 人→2016 年 353 人→2017 年 439 人→2018 年 500 人→2019 年 517 人)、新型コロナウイルス感染拡大防止のため福祉施設でのボランティア受け入れが困難を極め、キャンペーンの実施は中止となった。 ・代替として「夏のオンライン体験」を実施したところ、小学生～大学生より申し込みがあり、小規模ではあるが夏休みの学びの機会を提供することができた。																						

内 容	7. まちづくり人プロジェクト委員会												
実績報告	ボランティア・市民活動を推進する事により、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。（平成30年度設立） 1) 委員会 <table border="1" data-bbox="451 336 1434 689"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/23</td><td>今年度事業の進め方について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議</td></tr> <tr> <td>10/23</td><td>正副委員長 惟住さん栗澤さん打合せ</td></tr> <tr> <td>11/10</td><td>ヒューマンライブラリーについてについて</td></tr> <tr> <td>12/8</td><td>ヒューマンライブラリーの担当決めについて</td></tr> <tr> <td>3/15</td><td>まちづくり人プレ企画 ヒューマンライブラリー (新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月以降に延期)</td></tr> </tbody> </table> 2) 委員会メンバー（順不同） 委員長 惟住浩太郎 氏（日野掃除に学ぶ会世話人） 副委員長 栗澤稚富美 氏（日野社会教育センター） 渡戸一郎 氏（明星大学名誉教授） 溝口常之 氏（NPO法人ひの市民活動ネットワーク事務局長） 山田哲道 氏（日野市民生・児童委員協議会会長） 佐藤美千代 氏（せせらぎ農園代表） 藤田博文 氏（CIL、障害者差別解消検討委員会委員長） 藤浪里佳 氏（NPO法人子どもへのまなざし事務局長） 福村真紀子 氏（多文化ひろばあいあい代表） 福原冬彦 氏（元日野市立豊田小学校教諭） 小松利夫 氏（日野市地域協働課課長） 佐藤新哉 氏（東京ボランティア・市民活動センター） 景谷弓子 氏（地域サロン縁がわ） 浅沼俊熙 氏（日野市ボランティア・センター窓口相談員） 松本茂夫 氏（日野市ボランティア・センター長） NPO法人国際ボランティア学生協会 VUSA・中央大学学生 LGBT+中高生支援団体すばる代表・明星大学学生	開催日	内容	6/23	今年度事業の進め方について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議	10/23	正副委員長 惟住さん栗澤さん打合せ	11/10	ヒューマンライブラリーについてについて	12/8	ヒューマンライブラリーの担当決めについて	3/15	まちづくり人プレ企画 ヒューマンライブラリー (新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月以降に延期)
開催日	内容												
6/23	今年度事業の進め方について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議												
10/23	正副委員長 惟住さん栗澤さん打合せ												
11/10	ヒューマンライブラリーについてについて												
12/8	ヒューマンライブラリーの担当決めについて												
3/15	まちづくり人プレ企画 ヒューマンライブラリー (新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月以降に延期)												
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は、オンラインと会場のハイブリッド型で実施。多様性の理解に向けてのイベントとして、ヒューマンライブラリーを実施する方向で決まり、まず委員が体験するプレ企画の日程確定まで漕ぎ着けたが、実施は来年度以降に延期となった。												

事業内容	8. オンラインを活用した講座の開催																																																								
実績報告	新型コロナウイルス感染拡大に伴い外出自粛が続く中で、地域のつながりを維持し、地域の皆さまに心身の健康な状態を保っていただくことを目的に、オンライン（Zoom）を活用した各種講座を開催した。																																																								
	1) 実績																																																								
	①オンラインお試し講座（入門編）																																																								
	<table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>7/8</td><td>7人</td><td>7/16</td><td>11人</td><td>7/21</td><td>17人</td><td>7/27</td><td>16人</td></tr><tr><td>8/12</td><td>42人</td><td>8/24</td><td>20人</td><td>9/14</td><td>12人</td><td>9/25</td><td>9人</td></tr><tr><td>10/14</td><td>17人</td><td>10/23</td><td>9人</td><td>11/16</td><td>7人</td><td>11/25</td><td>2人</td></tr><tr><td>12/17</td><td>3人</td><td>12/21</td><td>3人</td><td>1/27AM</td><td>26人</td><td>1/27PM</td><td>22人</td></tr><tr><td>1/26, 28, 29, 2/1, 2, 3, 4 (1/27の追加開催)</td><td>22人</td><td>2/15AM</td><td>6人</td><td>2/15PM</td><td>8人</td><td>2/22AM</td><td>11人</td></tr><tr><td>2/22PM</td><td>28人</td><td>3/8</td><td>8人</td><td>3/15</td><td>33人</td><td>3/22</td><td>14人</td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	7/8	7人	7/16	11人	7/21	17人	7/27	16人	8/12	42人	8/24	20人	9/14	12人	9/25	9人	10/14	17人	10/23	9人	11/16	7人	11/25	2人	12/17	3人	12/21	3人	1/27AM	26人	1/27PM	22人	1/26, 28, 29, 2/1, 2, 3, 4 (1/27の追加開催)	22人	2/15AM	6人	2/15PM	8人	2/22AM	11人	2/22PM	28人	3/8	8人	3/15	33人	3/22	14人
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																																																	
	7/8	7人	7/16	11人	7/21	17人	7/27	16人																																																	
	8/12	42人	8/24	20人	9/14	12人	9/25	9人																																																	
	10/14	17人	10/23	9人	11/16	7人	11/25	2人																																																	
	12/17	3人	12/21	3人	1/27AM	26人	1/27PM	22人																																																	
	1/26, 28, 29, 2/1, 2, 3, 4 (1/27の追加開催)	22人	2/15AM	6人	2/15PM	8人	2/22AM	11人																																																	
2/22PM	28人	3/8	8人	3/15	33人	3/22	14人																																																		
②オンラインお試し講座（ステップアップ編）																																																									
<table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>8/13</td><td>41人</td><td>8/25</td><td>33人</td><td>10/22</td><td>14人</td><td>9/17</td><td>9人</td></tr><tr><td>9/29</td><td>18人</td><td>10/15</td><td>12人</td><td>10/28</td><td>16人</td><td>11/18</td><td>8人</td></tr><tr><td>11/26</td><td>3人</td><td>12/18</td><td>5人</td><td>12/24</td><td>4人</td><td>1/29AM</td><td>23人</td></tr><tr><td>1/29PM</td><td>17人</td><td>2/24AM</td><td>15人</td><td>2/24PM</td><td>24人</td><td>3/17</td><td>35人</td></tr><tr><td>3/25</td><td>21人</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	8/13	41人	8/25	33人	10/22	14人	9/17	9人	9/29	18人	10/15	12人	10/28	16人	11/18	8人	11/26	3人	12/18	5人	12/24	4人	1/29AM	23人	1/29PM	17人	2/24AM	15人	2/24PM	24人	3/17	35人	3/25	21人															
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																																																		
8/13	41人	8/25	33人	10/22	14人	9/17	9人																																																		
9/29	18人	10/15	12人	10/28	16人	11/18	8人																																																		
11/26	3人	12/18	5人	12/24	4人	1/29AM	23人																																																		
1/29PM	17人	2/24AM	15人	2/24PM	24人	3/17	35人																																																		
3/25	21人																																																								
③その他講座																																																									
<table><tr><td>内容</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>サロン・居場所運営者情報交換会 ※地域支援係に協力</td><td>7/15</td><td>8人</td></tr><tr><td>ボランティアおしゃべり広場</td><td>7/20</td><td>6人</td></tr><tr><td>親子で遊ぼう～Zoomを使ったおやこ時間～ 講師 栗澤雅富美 氏（子育てカフェモグモグ）</td><td>7/22</td><td>1人</td></tr><tr><td>コロナに負けない！メンタルヘルス講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）</td><td>7/28</td><td>10人</td></tr><tr><td>防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災</td><td>9/20</td><td>7人</td></tr><tr><td>福祉職のためのZoom活用講座 ※在宅サービス係に協力</td><td>8/25, 28 9/2×2回 9/10</td><td>52人</td></tr><tr><td>防災おしゃべり広場</td><td>9/12</td><td>2人</td></tr><tr><td>大瀧先生の理科室 ※公民館と共催 講師 大瀧雄一郎 氏</td><td>9/19</td><td>31人</td></tr><tr><td>オランダから生中継！アートセラピー講座 講師 アフケ・ロッケフェーン氏（芸術療法士） 講師 ケン・タナカ氏（精神科医）</td><td>10/24</td><td>53人</td></tr></table>	内容	開催日	参加者	サロン・居場所運営者情報交換会 ※地域支援係に協力	7/15	8人	ボランティアおしゃべり広場	7/20	6人	親子で遊ぼう～Zoomを使ったおやこ時間～ 講師 栗澤雅富美 氏（子育てカフェモグモグ）	7/22	1人	コロナに負けない！メンタルヘルス講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）	7/28	10人	防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災	9/20	7人	福祉職のためのZoom活用講座 ※在宅サービス係に協力	8/25, 28 9/2×2回 9/10	52人	防災おしゃべり広場	9/12	2人	大瀧先生の理科室 ※公民館と共催 講師 大瀧雄一郎 氏	9/19	31人	オランダから生中継！アートセラピー講座 講師 アフケ・ロッケフェーン氏（芸術療法士） 講師 ケン・タナカ氏（精神科医）	10/24	53人																											
内容	開催日	参加者																																																							
サロン・居場所運営者情報交換会 ※地域支援係に協力	7/15	8人																																																							
ボランティアおしゃべり広場	7/20	6人																																																							
親子で遊ぼう～Zoomを使ったおやこ時間～ 講師 栗澤雅富美 氏（子育てカフェモグモグ）	7/22	1人																																																							
コロナに負けない！メンタルヘルス講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）	7/28	10人																																																							
防災王決定戦！！ 講師 中央大学チーム防災	9/20	7人																																																							
福祉職のためのZoom活用講座 ※在宅サービス係に協力	8/25, 28 9/2×2回 9/10	52人																																																							
防災おしゃべり広場	9/12	2人																																																							
大瀧先生の理科室 ※公民館と共催 講師 大瀧雄一郎 氏	9/19	31人																																																							
オランダから生中継！アートセラピー講座 講師 アフケ・ロッケフェーン氏（芸術療法士） 講師 ケン・タナカ氏（精神科医）	10/24	53人																																																							

	<table><tr><td>コロナに負けない！ストレスコーピング講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）</td><td>10/26</td><td>約50人</td></tr><tr><td rowspan="2">楽しくつくろう！新聞紙エコバッグ 講師 NPO 法人市民サポートセンター日野の皆さん</td><td>11/13</td><td>7人</td></tr><tr><td>11/27</td><td>12人</td></tr><tr><td rowspan="2">はじめてのLINE 講座</td><td>11/27</td><td>2人</td></tr><tr><td>11/30</td><td>3人</td></tr><tr><td rowspan="2">今さら聞けない！LINE 講座</td><td>1/21</td><td>3人</td></tr><tr><td>1/25</td><td>8人</td></tr><tr><td rowspan="2">ホスピタルアートを作ろう</td><td>1/13</td><td>5人</td></tr><tr><td>1/22</td><td>1人</td></tr></table>	コロナに負けない！ストレスコーピング講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）	10/26	約50人	楽しくつくろう！新聞紙エコバッグ 講師 NPO 法人市民サポートセンター日野の皆さん	11/13	7人	11/27	12人	はじめてのLINE 講座	11/27	2人	11/30	3人	今さら聞けない！LINE 講座	1/21	3人	1/25	8人	ホスピタルアートを作ろう	1/13	5人	1/22	1人
コロナに負けない！ストレスコーピング講座 講師 竹内真弓 氏（多摩総合精神保健福祉センター精神科医）	10/26	約50人																						
楽しくつくろう！新聞紙エコバッグ 講師 NPO 法人市民サポートセンター日野の皆さん	11/13	7人																						
	11/27	12人																						
はじめてのLINE 講座	11/27	2人																						
	11/30	3人																						
今さら聞けない！LINE 講座	1/21	3人																						
	1/25	8人																						
ホスピタルアートを作ろう	1/13	5人																						
	1/22	1人																						
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人が密集するサロンや講座の開催が困難になったため、オンラインツール（Zoom）を活用した各種講座を実施した。 ・高齢者の参加は困難かと思われたが、意外にも 70～80 代の参加が多く、オンラインを使いこなしたいと考えている高齢者が多数存在することがわかった。「オンライン開催」という新たな選択肢を得たため、新型コロナウイルス終息後においても、十分に活用していきたい。																							
事業内容	9. 出前講座等																							
実績報告	<table><tr><td colspan="3">1) 実績</td></tr><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>対象者</td></tr><tr><td>10/5</td><td>明星大学 相談援助論ⅠB 相談援助論、社会福祉協議会とボランティアセンターの役割について</td><td>70人</td></tr><tr><td>10/12</td><td>立教大学 ボランティア論 ボランティアセンターの仕事について</td><td>152人</td></tr><tr><td>10/29</td><td>日野第一中学校 郷土調べ ボランティアセンターについて</td><td>1年生 15人</td></tr><tr><td>2/13</td><td>南平2層協議体 ボランティアについて (※緊急事態宣言下のため延期)</td><td>—</td></tr></table>	1) 実績			開催日	内容	対象者	10/5	明星大学 相談援助論ⅠB 相談援助論、社会福祉協議会とボランティアセンターの役割について	70人	10/12	立教大学 ボランティア論 ボランティアセンターの仕事について	152人	10/29	日野第一中学校 郷土調べ ボランティアセンターについて	1年生 15人	2/13	南平2層協議体 ボランティアについて (※緊急事態宣言下のため延期)	—					
1) 実績																								
開催日	内容	対象者																						
10/5	明星大学 相談援助論ⅠB 相談援助論、社会福祉協議会とボランティアセンターの役割について	70人																						
10/12	立教大学 ボランティア論 ボランティアセンターの仕事について	152人																						
10/29	日野第一中学校 郷土調べ ボランティアセンターについて	1年生 15人																						
2/13	南平2層協議体 ボランティアについて (※緊急事態宣言下のため延期)	—																						
事業効果・評価 方向性等	・中学生や大学生を対象に、社会福祉協議会やボランティアセンターの役割について伝える講座を提供したところ、福祉やまちづくりへの興味関心が高まったという感想が多く寄せられた。																							
内 容	10. その他																							
実績報告	<table><tr><td colspan="2">1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ）</td></tr><tr><td colspan="2">①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 268 件</td></tr><tr><td colspan="2">②軽作業ボランティア 不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティア・センター内での活動を行った。</td></tr><tr><td colspan="2">2) 三菱UFJ銀行C. C. P研修（中止） 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側より中止の連絡が</td></tr></table>	1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ）		①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 268 件		②軽作業ボランティア 不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティア・センター内での活動を行った。		2) 三菱UFJ銀行C. C. P研修（中止） 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側より中止の連絡が																
1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ）																								
①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 268 件																								
②軽作業ボランティア 不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティア・センター内での活動を行った。																								
2) 三菱UFJ銀行C. C. P研修（中止） 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側より中止の連絡が																								

	あった。 3) ボランティア保険取扱事業 ①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱 <table><tr><td></td><td colspan="2">団体</td><td>個人</td></tr><tr><td>2年度</td><td>81件</td><td>1,710人</td><td>167人</td></tr><tr><td>元年度</td><td>431件</td><td>3,223人</td><td>577人</td></tr></table> ②東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱 <table><tr><td>2年度</td><td>34件</td><td>1,128人</td></tr><tr><td>元年度</td><td>93件</td><td>5,471人</td></tr></table> 4) 研修会・関係会議 ・まちづくり市民フェア2020準備会、実行委員会、実行委員会企画会議 ・みんなの遊友ランド準備会 ・ボラネット多摩会議（大学との連携会議） ・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会 ・日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト ・南多摩ブロックボランティア担当者会議 ・日野市子どもの人権を守る協議会 ・南多摩医療圏災害医療ワーキング会議		団体		個人	2年度	81件	1,710人	167人	元年度	431件	3,223人	577人	2年度	34件	1,128人	元年度	93件	5,471人
	団体		個人																
2年度	81件	1,710人	167人																
元年度	431件	3,223人	577人																
2年度	34件	1,128人																	
元年度	93件	5,471人																	
事業効果・評価 方向性等	・今年度の三菱UFJ銀行 C.C.P 研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止になった。本研修は、新人職員のコミュニケーション力を鍛えるだけでなく、受入側の施設にとっても、利用者と他者との交流の機会や、施設職員の意識や意欲の向上の機会となっているので、早期再開が望まれる。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ボランティア活動およびイベントの開催が難しい状況が続いたため、保険の加入件数が大幅に減少した。 他人と接触せずに地域に貢献できるペットボトルキャップ等の寄付については、今年度も多くの方にご協力をいただいた。																		

事業名	防災・減災をテーマにした地域づくり	
事業形態	独自事業・受託事業（日野市）	
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金、受託金	
担当係	ボランティア係	
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる	
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。	
内容	1. みんなでつくる日野の防災プロジェクトの運営	
実績報告	1) 運営会議 災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティアセンターの運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議とした。	
	開催日	内容
	6/22	今年度の進め方 防災・減災シンポジウムについて
		参加者 19人
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症拡大予防により通常開催が中止にせざる得ない状況であったが、会議はwebでの開催を行うことにした。	
内容	2. 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム	
実績報告	例年のような「令和2年度日野市民でつくる防災・減災シンポジウム」の実施は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が困難なため、会場とオンラインのハイブリッド型での開催となった。 企画に関しては、昨年までの実行委員と実行委員会に関心を持った方へアンケート調査を行い作成した。	
	1) 開催日時 10/3（土）9:30～15:30 2) 内容 ①「新型コロナウイルス下における避難所での感染予防対策」(youtube) 講師 浦野愛 氏 (特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事) 講師 尾島俊之 氏（浜松医科大教授・健康社会医学講座） 視聴 224回 再視聴 108回	
	②「水害その時、地域の助け合い実践～台風19号の被災をいかに乗り越えたか～」(youtube) 講師 吉澤武志 氏（筆甫地区振興連絡協議会事務局長） 視聴 119回 再視聴 62回 ③「3.11の教訓から学ぶ判断力」(youtube) 講師 佐藤敏郎 氏（スマートサプライビジョン理事 兼 特別講師） 視聴 94回 再視聴 54回	

	④「防災・減災オンラインシンポジウム」(zoomグループワーク) 6グループに分かれ、各自自己紹介・第一部の感想・今後自分で対策すること等を話し合った。 ファシリテーター 中澤秀雄 (みんなでつくる日野の防災プロジェクト) シンポジウム参加者 42人 ○「防災・減災オンラインフォーラム」再放送 10/4(日)～11日(日)各講演1時間の放送																											
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講師を遠方から招くことや、大勢が集まったのシンポジウムの開催が難しいため、オンライン(YouTube)を活用したフォーラムの開催を行った。 ・特に感染症に配慮した避難所というタイムリーな演題は、関心の高さが視聴者の数に現れる結果となった。 ・オンライン動画により、防災の教材としての活用も可能となった。																											
内 容	3. 地域の防災・減災活動の支援 1)「イザ!カエルキャラバン!」の開催支援 NPO法人プラス・アーツが企画した子どもと一緒に楽しみながら参加できる防災体験プログラム。ワークショップや当日サポートを通して開催する団体を支援することで、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す。 ①「イザ!カエルキャラバン!」オンライン開催支援 <table><tr><th>開催日</th><th>主催</th><th>参加者</th></tr><tr><td>9/16</td><td>つくしんぼ保育園</td><td>17人</td></tr><tr><td>11/21</td><td>日野第六小学校</td><td>中止</td></tr></table> 2) 地域団体、学校、防災会等への支援 ①防災会への支援 避難所運営マニュアルを地域住民が中心となって作成し、その中で、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す防災会への支援を行った。 <table><tr><th>開催日</th><th>主催</th></tr><tr><td>8/26, 10/30, 12/20</td><td>滝合小防災会</td></tr><tr><td>9/4</td><td>八小地域防災会</td></tr><tr><td>9/17</td><td>東光寺小防災会</td></tr><tr><td>11/5</td><td>平山わの会</td></tr><tr><td>8/4, 8/19, 9/10, 10/7, 11/27</td><td>七小地域防災会</td></tr><tr><td>3/17</td><td>夢が丘小学校防災会</td></tr></table> ②日野第三小学校5年生向けの防災教育プログラムの実施 <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th></tr><tr><td>9/7, 9/10, 9/14 9/17, 9/28</td><td>①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう</td></tr></table>	開催日	主催	参加者	9/16	つくしんぼ保育園	17人	11/21	日野第六小学校	中止	開催日	主催	8/26, 10/30, 12/20	滝合小防災会	9/4	八小地域防災会	9/17	東光寺小防災会	11/5	平山わの会	8/4, 8/19, 9/10, 10/7, 11/27	七小地域防災会	3/17	夢が丘小学校防災会	開催日	内容	9/7, 9/10, 9/14 9/17, 9/28	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう
開催日	主催	参加者																										
9/16	つくしんぼ保育園	17人																										
11/21	日野第六小学校	中止																										
開催日	主催																											
8/26, 10/30, 12/20	滝合小防災会																											
9/4	八小地域防災会																											
9/17	東光寺小防災会																											
11/5	平山わの会																											
8/4, 8/19, 9/10, 10/7, 11/27	七小地域防災会																											
3/17	夢が丘小学校防災会																											
開催日	内容																											
9/7, 9/10, 9/14 9/17, 9/28	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう																											

	③都立南平高校「奉仕」HUG体験の支援 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ④オンラインによる防災に関する取り組み 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、webとの併用で開催した。 <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>9/13</td><td>「豊田で避難！「東京マイ・タイムライン」 大雨～水害へ備えましょう！！」 主催 豊田第一自主防災隊</td><td>28人</td></tr><tr><td>2/27</td><td>主役はわたしたち！コロナ時代の防災対策 主催：男女平等課</td><td>48人</td></tr></table> ⑤福祉避難所の開設を想定した防災訓練（主催：障害福祉課） <table><tr><th>開催日</th><th>主催</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8/29</td><td>工房夢ふうせんアネックス・障害福祉課</td><td>27人</td></tr></table> ⑥地域防災への協力 <table><tr><th>開催日</th><th>主催</th></tr><tr><td>8/29</td><td>国際交流協会 防災プロジェクト</td></tr></table> 3) 日野市版簡易マイタイムラインの作成 2019年に発生した台風19号での経験を受けて、避難行動要支援者である高齢者が安全に速やかに避難できるようマイタイムラインの普及を進めることを目的に、高齢福祉課と共に日野市版簡易マイタイムラインを作成した。地域包括支援センター及びケアマネージャーを中心に地域の高齢者への普及を進めていく。	開催日	内容	参加者	9/13	「豊田で避難！「東京マイ・タイムライン」 大雨～水害へ備えましょう！！」 主催 豊田第一自主防災隊	28人	2/27	主役はわたしたち！コロナ時代の防災対策 主催：男女平等課	48人	開催日	主催	参加者	8/29	工房夢ふうせんアネックス・障害福祉課	27人	開催日	主催	8/29	国際交流協会 防災プロジェクト
開催日	内容	参加者																		
9/13	「豊田で避難！「東京マイ・タイムライン」 大雨～水害へ備えましょう！！」 主催 豊田第一自主防災隊	28人																		
2/27	主役はわたしたち！コロナ時代の防災対策 主催：男女平等課	48人																		
開催日	主催	参加者																		
8/29	工房夢ふうせんアネックス・障害福祉課	27人																		
開催日	主催																			
8/29	国際交流協会 防災プロジェクト																			
事業効果・評価 方向性等	・2019年に発生した台風19号での対応や避難所での感染対策等の住民の関心の高さから避難所運営マニュアル作成希望の声があり、支援を行った。 ・「イザ！カエルキャラバン！」等も安全を考慮し、オンラインでの開催となった。 ・新型コロナウイルスに限らず、災害時の感染症拡大防止策についての関心は高いので、防災プログラムとしてメニューに加えられるか検討していきたい。																			

内 容	4. 防災普及活動																		
実績報告	1) 震災発災当初や大規模災害時には行政等の公助が行き届かないため、「自助」「共助」「公助」の役割分担を明確にし各々が役割を理解した上で共に連携して災害に対応することが重要であることから、避難所運営訓練やDIG、HUG およびワークショップ方式等を実施し、新たな防災リーダーの発掘と自主防災組織等の更なる充実・強化を図ることを目的に日野市から委託を受け実施する。																		
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>実施対象</th><th>参加者</th></tr><tr><td>12/8</td><td rowspan="2">日野版簡易マイタイムライン作成講座</td><td rowspan="2">地域包括支援センター ケアマネージャー</td><td>20人</td></tr><tr><td>12/18</td><td>6人</td></tr><tr><td>12/20</td><td>感染症対策版避難所運営訓練</td><td>豊田小学校地区自治会</td><td>72人</td></tr><tr><td>1/9</td><td>避難所運営訓練</td><td colspan="2">滝合小防災会・滝合小学校 ※緊急事態宣言期間中の為、地域向けの訓練は中止、学校の授業内での訓練のみとなった。</td></tr></table>	開催日	内容	実施対象	参加者	12/8	日野版簡易マイタイムライン作成講座	地域包括支援センター ケアマネージャー	20人	12/18	6人	12/20	感染症対策版避難所運営訓練	豊田小学校地区自治会	72人	1/9	避難所運営訓練	滝合小防災会・滝合小学校 ※緊急事態宣言期間中の為、地域向けの訓練は中止、学校の授業内での訓練のみとなった。	
	開催日	内容	実施対象	参加者															
	12/8	日野版簡易マイタイムライン作成講座	地域包括支援センター ケアマネージャー	20人															
	12/18			6人															
12/20	感染症対策版避難所運営訓練	豊田小学校地区自治会	72人																
1/9	避難所運営訓練	滝合小防災会・滝合小学校 ※緊急事態宣言期間中の為、地域向けの訓練は中止、学校の授業内での訓練のみとなった。																	
事業効果・評価 方向性等	【日野版簡易マイタイムライン作成講座について】																		
	・防災安全課の監修のもと、高齢福祉課と共に作成した日野版簡易マイタイムラインの作成の仕方を高齢者支援の最前線のケアマネージャーと地域包括支援センターの職員向けに実施することにより、高齢者へ避難行動を促すための支援が行えた。																		
	・高齢福祉事業者として避難行動要支援者に対して、今後具体的に考えていく機会につながった。																		
	・日野版簡易マイタイムラインの作成の仕方を動画で作成したことにより、広く関係者に伝えられる物が出来た																		
	【感染症対策用の避難所運営訓練について】																		
	・豊田小学校周辺の自治会は台風19号の経験から避難所運営についての地域の意識の向上から、避難所運営訓練を自治会が共同して開催した。開催当日には豊田小学校に避難してきた、学区外の自治会も関心を持ち参加した。																		
	・豊田小学校で避難所運営訓練を行ったことにより、豊田小防災会の再始動の話合いも自治会同士で行うことが出来た。																		
	・上記の訓練の様子を防災安全課の依頼のより訓練を撮影し、動画として配信できるようになった。																		
	【避難所運営訓練について】・滝合小防災会では、緊急事態宣言期間中の為中止となったが、豊田小学校で撮影した動画を配信することが出来た。																		

事業名	日野市介護サポーター制度		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指して頂くことを目的とする。		
内容	1. 介護サポーター制度の運営・相談支援		
実績報告	日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じて、介護予防についての理解を深めるとともに、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気で過ごして頂くことを目的に、ボランティア相談への対応やボランティアポイント制度の運用を行った。		
	1) 業務内容		
	① 介護サポーター制度の説明および登録手続きを行う。		
	② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。		
	③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。		
	④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。		
	⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。		
	(登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等)		
	⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。		
	2) 登録者及び施設数		
	登録者	受入施設	
2年度	422人	59施設	
元年度	439人	58施設	
3) 介護サポーター制度の周知			
ボランティアインフォメーション 3月号掲載			
ひの社協だより 240号掲載			
4) 介護サポーター制度説明会			
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場開催とオンライン開催（Zoom）を併用した。			
開催日	場所	参加者	登録者
3/29	中央福祉センター	9人	8人
	オンライン（Zoom）	7人	
5) 介護サポーター制度登録者向け研修			
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、少人数での研修を実施した。			

	開催日	内容	場所	人数
	3/30	はじめてのスマホ講座	福祉支援センター	4人
	3/31		中央福祉センター	4人
事業効果・評価 方向性等	・例年、「体調不良」「入院」「逝去」「転居」「高齢のため」等の理由により登録取消者が相次ぐが、新規登録者数がそれを上回るため登録者数は増加傾向にあった。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染を不安視して新規登録者数が大幅に減少し、登録者数減少につながった。また、高齢者施設の大多数が2月以降ボランティア受け入れを休止しているため、年度末の活動者数も少なくなるものと推測される。 ・今年度は、会場とオンラインのハイブリッド型で制度説明会を開催したところ、例年よりも多くの方にご参加いただいた。新型コロナウイルス感染拡大終息後も、オンラインの活用を検討していきたい。			

事業名	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know! (ひのう)」				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	補助金				
担当係	ボランティア係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ				
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報提供を行う。				
内容	1. まちにくわるポータルサイト「Hi Know!」の運営				
実績報告	「Hi know!」は、富士通研究所㈱が「日野市を社会参加しやすいまちにする」ことを目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイトを開発。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当、平成27年度から日野市の補助事業となる。 URL http://www.hi-know.tokyo/				
	1) 「Hi know!」閲覧数（令和2年4月1日～令和3年3月31日）				
		トップ ページ	団体毎 アクセス数	イベント毎 アクセス件数	まち記者毎 取材記参照数
	2年度	469,409件	67,948件	155,448件	101,655件
	元年度	31,201件	67,325件	96,465件	72,204件
2) 登録団体数 236団体（令和2年度新規登録団体4団体）					
3) 広報活動					
・公民館・・・・・・・・登録団体への周知					
・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知					
・ボランティア①インフォメーション（毎月掲載）4,000部					
4) 新機能「イベントカレンダー」の実装					
日野市生涯学習課が作成する「講座イベントガイド」と連動する形で、Hi Know!トップページ上に「イベントカレンダー」機能を開設。主に市					

	役所各課が開催するイベントが掲載され、日野市内で行われるイベントのスケジュールが一目で確認できるようになった。		
事業効果・評価 方向性等	・昨年度と比較して「トップページ」「イベント情報」「まち記者取材記」の閲覧数が増加した。「イベントカレンダー」機能の新設により、市各課からのイベント掲載が格段に増えたため、まちの情報が集約された市民にとって便利な情報収集のツールになっているのではと予想される。 ・トップページ閲覧数の大幅な増加は、検索サイト（Yahoo!やGoogle等）の自動検索によるものと推測される。		
内 容	2. まち記者の養成・活動支援		
実績報告	1) 登録者数 50人（令和2年度新規登録者数 5人） 2) まち記者ミーティング 9回 (6/12, 7/10, 8/21, 9/11, 10/9, 11/19, 12/11, 1/15, 3/1) 3) まち記者養成講座		
	開催日	内容	参加者
	3/12	会場 中央福祉センターおよびオンライン 講師 大池昴之 氏（有限会社大池デザイン） 内容 ①楽しい取材の仕方を学ぼう！（座学） ②写真の撮り方を学ぼう！（座学と実践） ③記事を書いて発信しよう！（座学） 新規まち記者登録者 5人	17人 (新規13人 現役4人)
事業効果・評価 方向性等	・2年度はZoomにてまち記者ミーティングを開催したところ、通常の会場開催では参加が難しいまち記者も参加することができた。今後はオンラインも併用しながらより活気のあるミーティングを開催していきたい。 ・「まち記者講座」においてもZoomを併用したところ、会場を上回る人数の申し込みが寄せられた。次年度以降もZoomの活用を検討していきたい。		

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成	
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業	
財源内訳	歳末たすけあい配分金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる	
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。	
内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査	
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付	
	令和2年度	15 団体 777,000 円
	令和元年度	19 団体 1,549,000 円
	(令和2年度内訳)	
		団体名 助成金額
	1	日野市老人クラブ連合会 70,000円
	2	日野市赤十字奉仕団 70,000円
	3	クイーン・マジッククラブ 28,000円
	4	緑を愛する会日野 29,000円
	5	ひの・I-BASYO 49,000円
	6	日野市聴覚障害者協会 0円
	7	朗読サークル「ひの」 57,000円
	8	日野市身体障害者福祉協会 72,000円
	9	ボランティアグループこすもす 0円
	10	子どもへのまなざし 64,000円
	11	ひの手話サークル 0円
	12	かしのきひの 38,000円
	13	市民サポートセンター日野 26,000円
	14	日野いずみ会 0円
	15	日野市障害者関係団体連絡協議会 38,000円
	16	日野すみれ塾 75,000円
	17	日野失語症者交流会「すずめ」 26,000円
	18	HINO飛ぶ教室 75,000円
	19	環境教育ネットワーク 60,000円
		合計 777,000円
事業効果・評価 方向性等	・当事者団体やボランティアグループ等に助成し、自己財源力の乏しい団体の活動の一助となっている。 ・新型コロナウイルスの影響により、計画していた事業の開催が不可能となり、助成金を全額返還もしくは一部返還する団体があった。 (7 団体 323,000 円)	

事業名	地域支え合い福祉活動助成								
事業形態	独自事業								
財源内訳	会費								
担当係	地域支援係								
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる								
目的	会費を原資とした助成金を、地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体および「ぷらっと協議会」（地区社協）に交付し、地域福祉活動の活性化を図る。								
内容	1. サロン活動助成								
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付								
	<table><tr><td>令和2年度</td><td>43 団体</td><td>929,096 円</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>40 団体</td><td>1,182,000 円</td></tr></table> (令和2年度内訳)			令和2年度	43 団体	929,096 円	令和元年度	40 団体	1,182,000 円
	令和2年度	43 団体	929,096 円						
	令和元年度	40 団体	1,182,000 円						
		団体名	助成金額						
	1	ふれあいサロン「こんね」	10,524円						
	2	サロン程久保	30,000円						
	3	日野市パーキンソン病友の会	19,053円						
	4	日野おはなしの会	30,000円						
	5	日野市ひきこもり家族会	30,000円						
	6	二水会	19,620円						
	7	エンジョイルームかわせみ	20,483円						
	8	アンサンブル*レェブ	3,000円						
	9	ふれあいあじさいサロン	30,000円						
	10	明星地区つながりの家「アムール」	20,000円						
	11	ふれあいサロン万願荘	20,000円						
	12	黒川かわせみサロン	30,000円						
	13	ふれあいサロン 「縁がわ」世話人会	30,000円						
	14	多文化ひろばあいあい	30,000円						
	15	さざんかの会	0円						
	16	ホットやすらぎ会	6,654円						
	17	子育て支援グループ「かるがも」	30,000円						
	18	えびす会	30,000円						
	19	健幸サロン	30,000円						
	20	日野国際友好クラブ	0円						
	21	南新井ふれあいサロン協議会	20,000円						
	22	歌で楽しむ元気会	30,000円						
	23	平山ことな広場の会	30,000円						
24	なつかしい歌の会	30,000円							
25	落川元気会	18,464円							

	26	エプロン・ママ	20,000円
	27	こどもへのまなざしママ会	13,000円
	28	環境教育ネットワーク	30,000円
	29	レモン倶楽部	0円
	30	青春グループ	1,318円
	31	平山ふれあいサロン・ソレイユ	20,000円
	32	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円
	33	Shall we dance	30,000円
	34	南平駅西交流センター運営委員会	30,000円
	35	性教育問題を考える日野の会	30,000円
	36	緑ヶ丘自治会「談笑縁」	0円
	37	元気な音楽の広場	26,980円
	38	大坂上百合の木会	30,000円
	39	特定非営利活動法人はっぴーらいふ	0円
	40	おしゃべりカフェ	30,000円
	41	ヒーリング・ミュージック研究会「ハーモニー」	30,000円
	42	特定非営利活動法人 日野福祉の学校	30,000円
	43	新町カフェ	30,000円
		合計	929,096円
	※助成金額が0又は端数が生じている団体は、新型コロナウイルス感染症により活動が中止、縮小したことに伴い、精算後の金額となります。		
事業効果・評価 方向性等	・今年度は新型コロナウイルスの影響で、活動ができていないところが多く、助成金の扱いも検討が必要になっている。さらに、来年度以降も会費収入の減少等を考え、助成金の金額等を見直す検討を始めている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、サロン活動等の実施が中止、縮小となり、必要な経費を除き助成金の返還を求めた。(7団体137,916円)		
内 容	2. 地区社協助成		
実績報告	南平地区社協 150,000円		

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。					
内容	1. 相談支援					
実績報告	1) 相談実績（電話・来所）					
		件数				
	2年度	5,319件				
	元年度	1,191件				
※特例貸付にかかる相談含む						
事業効果・評価方向性等	・電話、来所を含めた相談件数は昨年度の約4.5倍あり、令和2年3月25日から受付を開始したコロナウイルスの影響を受け減収となった方への、特例貸付件数の激増が要因となっている。 ・特例貸付は、減収や離職した方々の生活費不足という問題を抱えた世帯のニーズに大きく貢献できたものと思われる。 ・福祉費・教育支援資金に関する貸付相談件数は、例年とほぼ同様と思われる。					
内容	2. 貸付実績等					
実績報告	1) 貸付実績・取扱金額等					
		貸付件数		取扱金額		
	2年度	17件		18,625,000円		
	元年度	12件		15,640,000円		
	＊教育支援資金：18,264,000円/15件　福祉費：361,000円/2件					
	2) 貸付実績内訳					
	（不動産＝「不動産担保型生活資金」、要保護＝「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」）					
		福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護
	2年度	2件	15件	0件	0件	0件
	元年度	3件	9件	0件	0件	0件
3) 総合支援資金の支援活動						
総合支援資金は平成21年10月に創設された離職者を対象とした制度で、借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。月1回の面接時には就職活動の報告を受け、内容を確認し早期就労を目指した支援を行っている。						
(内訳)　・借受人総数　　44人						
・資金完済者　　8人（7月に1名、11月に1名と2名増加）						

	・債務整理者 3人 ・借受人死亡 1人 ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人 ・現在の借受人 29人 ・就職者 25人 ・ 就職率 86,2% 4) 特例貸付 各地で発生する地震や台風被害に遭った方々を対象とした「特例貸付」について、令和2年度は実績なしとなった。 また、令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金の貸付制度、「緊急小口資金・総合支援資金」の特例貸付が開始されている。(別途記載)
事業効果・評価 方向性等	・教育支援資金について、給付型奨学金や授業料減免措置を利用できる借受人(世帯)が増えたため利用が少なくなっているものと思われたが、下半期になり、新型コロナウイルスの影響により世帯で学費を賄うことが出来ず、借入を希望する世帯からの相談件数が増加したように思われる。 ・高等教育の修学支援新制度が始まり、学費の給付減免制度が手厚く利用できるようになり、借受人(世帯)にとっては良い方向に向かっている。 なお、給付・減免には3つの区分があり金額も異なるため、年度ごとに借受人の区分(金額)に合わせて教育支援資金の貸付額が変更になるため、慎重に対応する必要がある。 ・高校に進学を希望する場合、修学支援金・授業料軽減措置等の支援内容が広く認識されるようになった。しかし、ひとり親家庭や生活保護世帯の子どもが高校へ進学する場合、教育支援資金を利用する場合も多く、日野市セーフティネットコールセンターや生活福祉課との連携がより重要となってきている。 ・福祉費や既存の緊急小口資金の利用は少なくなっている。 ・総合支援資金は昨年同様、相談案件も貸付件数もなかった。新型コロナウイルスの影響で勤務先を解雇された等の失業者・求職者が増えると予想し、相談も増えると考えていたが、特例貸付でかなりの部分カバーできたように思われる。 ・高校進学を希望する方は修学支援金・授業料軽減措置等の支援内容が広く認識されるようになり、高校へ進学する方の教育支援資金の貸付件数も少なくなっている。
内 容	3. 関係機関との連携
実績報告	1) 日野市セーフティネットコールセンター3係との打合せ セーフティネット係・ひとり親相談係 7/9 (木) 自立支援係 7/15 (水)
事業効果・評価 方向性等	・母子父子福祉資金担当部署との連携、特例貸付にかかる連携がスムーズに行われることを目的に、セーフティネットコールセンターと打合せを行った。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響で、三密になりうる東京都社会福祉協議会の会議や研修会等は開催されなかった。
内 容	4. 償還相談および償還免除等の申請事務手続き
実績報告	1) 償還猶予 教育支援資金 1件

	4 年制大学を卒業した借受人が大学院に進学する事になり、2 年間の償還猶予申請を受け付けた。 2) 一括繰上償還 福祉費 住宅改修費 9 件 連帯借受人である長男が一括繰上償還を行った。 総合支援資金 1 件 借受人より返済できる目途がついたと一括繰上償還を行った。 3) 減額辞退届 教育支援資金 9 件 一般的な学費の辞退届とは別に、給付・減免制度の利用が可能になったため、給付・減免に伴う教育支援資金の「減額辞退届」の件数が増えた。																		
事業効果・評価 方向性等	・償還猶予は、上級学校への進学や出産等の場合については相談可能。 ・延滞利子免除や償還免除等に関しては、借受人だけでなく連帯借受人や連帯保証人世帯の生活状況も詳しく聞き取りする必要がある、それぞれの世帯が低所得でないと申請できない。借受人は連帯借受人や連帯保証人とあまり連絡を取っていないケースも多く、それら世帯の生活状況を確認する事は難しい面もある。 ・総合支援資金を返済する借受人は、毎月きちんと返済してくれる方とほとんど返済しない方（できない方）に分かれている。返済しない方は電話に出てくれない場合がほとんどであるが、手紙を送る等連絡を途絶えさせないようにしている。 ・減額辞退届とは、教育支援資金の貸付金額に変更があった際、東京都社会福祉協議会に報告する書式である。入学するために必要な学費を教育支援資金として貸付け、同時に入学年次に受けられる給付・減免資金を貯めておき、それを優先的に翌年次の学費に充てる。この場合、給付・減免の区分（金額）により、翌年次の教育支援資金の貸付金を減額することができる。 ・給付・減免対象者への教育支援資金は単年貸しのため、翌年度教育支援資金の貸付が必要な場合は、改めて教育支援資金の申請が必要になるため、慎重かつ丁寧に対応する必要がある。																		
内 容	5. 日野市生活福祉資金貸付事業（平成 21 年度終了事業/償還業務のみ）																		
実績報告	平成 21 年度を以って終了した日野市生活福祉資金貸付事業について、償還未済の借受人に対し償還請求を行った。 1) 償還状況 <table><tr><td></td><td>件数</td><td>人数</td><td>貸付金残額</td><td>償還額</td><td>回収不能額</td></tr><tr><td>2年度</td><td>15件</td><td>14人</td><td>742,000円</td><td>34,000円</td><td>0円</td></tr><tr><td>元年度</td><td>17件</td><td>16人</td><td>776,000円</td><td>22,000円</td><td>0円</td></tr></table>		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額	2年度	15件	14人	742,000円	34,000円	0円	元年度	17件	16人	776,000円	22,000円	0円
	件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額														
2年度	15件	14人	742,000円	34,000円	0円														
元年度	17件	16人	776,000円	22,000円	0円														
事業効果・評価 方向性等	・借受人に対し定期的に郵送物を送付、居住確認を行う等償還活動を推進していく。 ・新型コロナウイルスの影響もあり、回数を控えながら償還督促の書面を郵送した。																		

事業名	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業		
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。		
内容	1. 相談支援および貸付申請事務手続き		
実績報告	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は、下記の2種類ある。		
	①就職に有利な資格を取得するための入学準備金		
	②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金		
	養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申請により返済が免除される		
	1) 実績		
	相談人数	貸付件数	取扱金額
2年度	3件	3件	1,400,000円
元年度	1件	1件	200,000円
	＊入学準備金 500,000円/2件、400,000円/1件		
事業効果・評価 方向性等	・29年度から開始された制度で申請件数は多くないが継続して支援したい。利用する方は少ないものの、借受人から非常にありがたいという声をいただいている。		

事業名	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付事業
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮し日常生活の維持が困難になっている世帯に対し、生活福祉資金制度の緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置を設けることにより、世帯の自立促進を図ることを目的とし、令和2年3月25日から開始した。
事業内容	1. 貸付内容
実績報告	この特例貸付は、償還時においてなお所得の減少が続く非課税世帯の場合、償還を免除することができるとしている。 1) 緊急小口資金 貸付額：20万円 一括交付 利子：無利子

	据置期間：1年 返済期間：2年（24回） 連帯保証人：不要 2）総合支援資金 貸付額：単身世帯 月額15万円/複数世帯 月額20万円 原則3カ月間貸付 利子：無利子 据置期間：1年 返済期間：10年（120回） 連帯保証人：不要 3）総合支援資金 延長貸付（総合支援資金を借りた方が対象） 貸付額：単身世帯 月額15万円/複数世帯 月額20万円 原則3カ月間貸付 利子：無利子 据置期間：1年（延長を3カ月利用した場合は最終送金月より） 返済期間：10年（120回）総合支援資金と延長分の合計を返済 連帯保証人：不要 4）総合支援資金 再貸付（緊急小口資金と総合支援資金の貸付が終了した世帯が対象で、総合支援資金・延長とは別債権となる） 貸付額：単身世帯 月額15万円/複数世帯 月額20万円 原則3カ月間貸付 利子：無利子 据置期間：1年（再貸付を3カ月利用した最終送金月より） 返済期間：10年（120回）再貸付分を返済 連帯保証人：不要																																																																			
事業内容	2. 貸付実績																																																																			
実績報告	1) 実績																																																																			
	<table><tr><td></td><td>資 金</td><td>申請件数</td><td>貸付金額</td></tr><tr><td rowspan="3">4月</td><td>緊急小口</td><td>180件</td><td>35,600,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>2件</td><td>1,050,000円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>182件</td><td>36,650,000円</td></tr><tr><td rowspan="3">5月</td><td>緊急小口</td><td>294件</td><td>57,880,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>126件</td><td>67,500,000円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>420件</td><td>125,380,000円</td></tr><tr><td rowspan="3">6月</td><td>緊急小口</td><td>162件</td><td>31,950,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>147件</td><td>78,750,000円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>309件</td><td>110,700,000円</td></tr><tr><td rowspan="4">7月</td><td>緊急小口</td><td>105件</td><td>20,490,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>111件</td><td>56,490,000円</td></tr><tr><td>総合延長</td><td>23件</td><td>12,450,000円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>239件</td><td>89,430,000円</td></tr><tr><td rowspan="4">8月</td><td>緊急小口</td><td>86件</td><td>17,000,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>90件</td><td>45,600,000円</td></tr><tr><td>総合延長</td><td>116件</td><td>61,800,000円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>292件</td><td>124,400,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">9月</td><td>緊急小口</td><td>32件</td><td>6,250,000円</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>106件</td><td>54,230,000円</td></tr></table>		資 金	申請件数	貸付金額	4月	緊急小口	180件	35,600,000円	総合支援	2件	1,050,000円	小 計	182件	36,650,000円	5月	緊急小口	294件	57,880,000円	総合支援	126件	67,500,000円	小 計	420件	125,380,000円	6月	緊急小口	162件	31,950,000円	総合支援	147件	78,750,000円	小 計	309件	110,700,000円	7月	緊急小口	105件	20,490,000円	総合支援	111件	56,490,000円	総合延長	23件	12,450,000円	小 計	239件	89,430,000円	8月	緊急小口	86件	17,000,000円	総合支援	90件	45,600,000円	総合延長	116件	61,800,000円	小 計	292件	124,400,000円	9月	緊急小口	32件	6,250,000円	総合支援	106件	54,230,000円
		資 金	申請件数	貸付金額																																																																
	4月	緊急小口	180件	35,600,000円																																																																
		総合支援	2件	1,050,000円																																																																
		小 計	182件	36,650,000円																																																																
	5月	緊急小口	294件	57,880,000円																																																																
		総合支援	126件	67,500,000円																																																																
		小 計	420件	125,380,000円																																																																
	6月	緊急小口	162件	31,950,000円																																																																
		総合支援	147件	78,750,000円																																																																
		小 計	309件	110,700,000円																																																																
	7月	緊急小口	105件	20,490,000円																																																																
		総合支援	111件	56,490,000円																																																																
		総合延長	23件	12,450,000円																																																																
		小 計	239件	89,430,000円																																																																
	8月	緊急小口	86件	17,000,000円																																																																
		総合支援	90件	45,600,000円																																																																
		総合延長	116件	61,800,000円																																																																
		小 計	292件	124,400,000円																																																																
	9月	緊急小口	32件	6,250,000円																																																																
		総合支援	106件	54,230,000円																																																																

	総合延長	84件	43,400,000円
	小 計	222件	103,880,000円
10月	緊急小口	57件	11,200,000円
	総合支援	24件	12,600,000円
	総合延長	64件	32,550,000円
	小 計	145件	56,350,000円
11月	緊急小口	35件	7,000,000円
	総合支援	44件	21,000,000円
	総合延長	96件	49,800,000円
	小 計	175件	77,800,000円
12月	緊急小口	35件	6,950,000円
	総合支援	34件	17,400,000円
	総合延長	30件	15,600,000円
	小 計	99件	39,950,000円
1月	緊急小口	36件	7,150,000円
	総合支援	43件	22,950,000円
	総合延長	22件	11,100,000円
	小 計	101件	41,200,000円
2月	緊急小口	83件	16,400,000円
	総合支援	38件	20,700,000円
	総合延長	24件	12,750,000円
	再貸付	2件	1,200,000円
	小 計	147件	51,050,000円
3月	緊急小口	125件	24,750,000円
	総合支援	140件	73,280,000円
	総合延長	32件	16,800,000円
	再貸付	427件	225,650,000円
	小 計	724件	340,480,000円
総合計	緊急小口	1,230件	242,620,000円
	総合支援	905件	471,550,000円
	総合延長	491件	256,250,000円
	再貸付	429件	226,850,000円
	合 計	3,055件	1,197,270,000円

2) 事業開始からの実績 令和2年3月25日～令和3年3月31日

	資 金	申請件数	貸付金額
総 数	緊急小口	1,247件	246,020,000円
	総合支援	905件	471,550,000円
	総合延長	491件	256,250,000円
	再貸付	429件	226,850,000円
総合計		3,072件	1,200,670,000円

	※令和2年3月実績			
		資 金	申請件数	貸付金額
	3月	緊急小口	17件	3,400,000円
事業効果・評価 方向性等	・この特例貸付は、台風等被害による地域限定的な特例貸付とは異なり、日本中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症による影響で、生活に困窮した世帯に対し、国（政府）として一人でも多くの国民を救うという目的のために制度化された。 ・従来の生活福祉資金は返済が見込める世帯への貸付であるが、特例貸付はコロナウイルスの影響を受け減収になっている（減収幅は問わない）世帯への貸付となっているため、通常的生活福祉資金では貸付できなかった世帯からの相談・申請件数も非常に多い。 ・今まで運用してきた生活福祉資金の貸付要件とは異なり、貸付基準が緩和され、審査・決定・送金に要する時間も従来のものとは異なり、申請書類が東京都社会福祉協議会到着後、一週間から10日前後で送金されている。そのような観点から、相談者から大変喜ばれている制度となっている。 ・3月25日から本特例貸付が始まり、4月・5月と相談件数が激増した。今までのように総務係貸付担当者だけでは対応しきれなくなったが、コロナ禍でボランティア係、地域支援係共に事業中止等活動の場が失われていた状況だったため、2系の正規職員に特例貸付業務を担ってもらうような体制に変更し、日野事務所一丸となり対応した。コロナが少し落ち着いた後も、2系の正規職員に応援してもらい業務に取り組んでいる。 ・緊急事態宣言が発令され、業務に影響を及ぼす事が無いよう職員をA・B 2グループに分け出勤した。4月中旬から5月末まで、土日交代で出勤し相談者の対応に当たった。 ・本特例貸付の申請受付は、当初7月末終了という事だったが、世の中の状況が改善されず9月末、12月末、令和3年3月末、令和3年6月末までと期間が延長された。それに伴い、総合支援資金の延長、さらには総合支援資金の再貸付と貸付種類・金額も追加された。単身世帯の貸付限度額は当初小口と総合で65万円だったものが最終的に155万円に、複数世帯の貸付限度額が当初80万円だったものが最終的に200万円まで利用できるようになった。 ・本特例貸付制度の運用当時から、返済の始まるタイミングで非課税世帯は償還免除も考慮するとなっている。 ・緊急小口資金は東京都社会福祉協議会が債権管理・償還業務を行い、総合支援資金は地区社協が償還業務にあたる事となっている。日野市内では1,000人を超す方々が総合支援資金の借受人となっているが、償還業務について詳細は未定である。 ・しかしながら上述のように生活保護世帯に近い収入状況の方にも貸付しているため、どの程度償還が見込めるかわからない状況である。 ・相談者に対し、フードパントリーの紹介を併せて行ったところ、多くの方にご利用いただいた。フードパントリー事業と連携を図り、食にお困りごとを抱えている方に対し、食の支援を行うことができた。利用された方から、「ありがとうございます」「本当に感謝します」という声を多くいただいている。			

事業名	ヒカリ興業奨学基金											
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）											
財源内訳	東京都社会福祉協議会による予算執行（当会では広報・相談のみ）											
担当係	総務係											
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる											
目的	本奨学金は、平成17年度「ヒカリ興業㈱」からの寄付により基金を設立し、翌年度の入学者から給付開始したものである。平成23～24年度は募集停止。平成25年度（翌年度の入学者）から募集再開した。当会では本奨学金の周知・受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。											
事業内容	申請書類の受付・奨学生の決定											
実績報告	1) 内容 募集人数（都内）大学等2人 高校等6人 交付金額（年額）大学等240,000円 高校等150,000円 ※いずれも所定就学期間のみ 2) 実績（申請者数・交付決定者数） <table><tr><td></td><td>申請者</td><td>交付決定者</td></tr><tr><td>2年度</td><td>5人（大学3人、高校2人）</td><td>1人（高校）</td></tr><tr><td>元年度</td><td>2人（大学0人、高校2人）</td><td>1人（高校）</td></tr></table>				申請者	交付決定者	2年度	5人（大学3人、高校2人）	1人（高校）	元年度	2人（大学0人、高校2人）	1人（高校）
	申請者	交付決定者										
2年度	5人（大学3人、高校2人）	1人（高校）										
元年度	2人（大学0人、高校2人）	1人（高校）										
事業効果・評価方向性等	・市内中学校ならびに市内所在する都立高校に募集要項を配布し、奨学生募集を行い、希望する生徒・保護者のほか、教員からの問い合わせもあった。 ・日野市セーフティネットコールセンター等の関係機関において、本奨学金を周知し、必要な方へ周知することができた。 ・奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だより等での周知の他に、関係機関への働きかけを行った。引き続き継続して行っていきたい。											

福祉サービス利用援助事業

事業名	地域福祉権利擁護事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金、利用料、利息					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする					
内容	1. 地域福祉権利擁護事業					
実績報告	1) 地域福祉権利擁護事業利用状況					
	認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。					
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数	
	2年度	2,428件	19件	11件	83件	
	元年度	2,417件	23件	13件	75件	
	2) 生活支援員連絡会					
	事務連絡、内部研修の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。（生活支援員登録数 25人）					
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	4/23	中止	7/29	17人	10/22	14人
	12/17	16人	2/25	14人		
3) コロナ禍における対応						
一度目の緊急事態宣言を踏まえ、4月～6月は、利用者の安心安全な日常生活を維持する上で必要不可欠な支援を継続することを前提としつつ、利用者の状況に応じて、可能な範囲で支援回数を減らしたり、効率化や一時休止等の対応を行った。新規相談に関しては、緊急性が高いケースに限定し対応することにした。						
7月以降は、感染拡大防止に配慮しながら通常支援を行った。						
事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍においても、相談対応を行い新規契約者の増加に繋がれた。 ・生活支援員の理解があったため、事業を継続することができた。					

事業名	権利擁護センター日野
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料、利息、繰越金
担当係	権利擁護係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる

目 的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。																								
内 容	1. 財産管理・保全サービス																								
実績報告	1) 財産管理・保全サービス 身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金のおし入れや日常生活に必要な各種手続き代行等のサービスを提供した。 <table><tr><td></td><td>相談・援助</td><td>新規契約</td><td>終了(解約)</td><td>3月末 契約件数</td></tr><tr><td>2年度</td><td>23件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>3件</td></tr><tr><td>元年度</td><td>23件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>3件</td></tr></table> 2) 応急日常金銭管理 行政からの依頼を受け、成年後見制度の申立から後見業務開始までの間の応急支援を行った。 <table><tr><td></td><td>相談・援助</td><td>依頼件数</td></tr><tr><td>2年度</td><td>52件</td><td>4件</td></tr><tr><td>元年度</td><td>71件</td><td>3件</td></tr></table>		相談・援助	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数	2年度	23件	0件	0件	3件	元年度	23件	0件	0件	3件		相談・援助	依頼件数	2年度	52件	4件	元年度	71件	3件
	相談・援助	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数																					
2年度	23件	0件	0件	3件																					
元年度	23件	0件	0件	3件																					
	相談・援助	依頼件数																							
2年度	52件	4件																							
元年度	71件	3件																							
事業効果・評価 方向性等	・地域福祉権利擁護事業から成年後見制度の利用までの一貫した支援を行う体制は整っている。																								
内 容	2. 成年後見制度における相談・支援の充実																								
実績報告	1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行った。 2) 必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の紹介を案内し、後見人等候補者の推薦依頼の支援を行った。 3) 制度利用が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申し立てや多摩南部成年後見センターの利用も視野に入れた総合的な支援を実施した。 4) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人の福祉サービスの利用や生活課題についての相談を受け、必要な情報提供や支援を行った。 <table><tr><td>2年度</td><td>250件</td></tr><tr><td>元年度</td><td>186件</td></tr></table>	2年度	250件	元年度	186件																				
2年度	250件																								
元年度	186件																								
事業効果・評価 方向性等	・成年後見制度の相談機関として、市民だけでなく日野市や保健所、地域包括支援センター等の関係機関からの相談や対応依頼が増えており、認知度や期待が高くなってきている。																								

内 容	3. 地域ネットワークと(親族)後見人等のサポート												
実績報告	1) 「成年後見制度説明会・相談会」の共催 行政（福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課）、多摩南部成年後見センターと共催で市民向け制度説明会を開催した。説明会後の相談会では、専門職や地域包括支援センター、行政のケースワーカー等と協力して、相談対応を行った。 会場の定員の半数を定員とし、完全予約制で開催した。												
	日時	内容	会場	参加者									
	10/3(土) 14:00-16:00	障害のある子の「親なきあと」～成年後見制度を中心に	市役所 505	20 人									
	10/7(水) 14:00-16:00	将来の自分と家族のためにできること～家族信託制度、生前契約、任意後見ほか	福祉支援センター	14 人									
	10/10(土) 14:00-16:00	元気なうちに「終活」をしましょう～エンディングノート、現場の事例紹介ほか	市役所 505	16 人									
	10/14(水) 14:00-16:00	後見人ってどういうものなの?～仕組み、報酬等費用、申立手続きなど成年後見制度基礎知識	福祉支援センター	10 人									
	10/17(土) 14:00-16:00	安心して老後を過ごすために～任意後見制度と相続遺言について	福祉支援センター	10 人									
内 容	4. 市民後見人の養成と後見監督の実施												
実績報告	1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦 市民後見人養成講習の修了者を、後見人候補者として登録。地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を整えた。 (市民後見人候補者登録数 13人)												
	2) 市民後見人等の受任と法人後見監督の実施 身寄りがなく、セーフティネットの利用対象にならない方に市民後見人等が就任することにより、被後見人等にとって意思が尊重される生活を送ることに寄与した。 当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人等に対し、当会で後見監督を受任した。 <table border="1"> <tr> <td>新規受任</td><td>終了件数</td><td>市民後見受任者</td><td>後見監督受任件数</td><td>申立手続中</td></tr> <tr> <td>1人</td><td>0人</td><td>3人</td><td>4件</td><td>0件</td></tr> </table>				新規受任	終了件数	市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中	1人	0人	3人	4件
新規受任	終了件数	市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中									
1人	0人	3人	4件	0件									
事業効果・評価 方向性等	- 市民後見人等から3か月ごとの定期報告を受け、後見業務を監督することができた。 - 市民後見人等に対して、監督業務だけでなく、相談に対応することで、適切な後見活動を行うためのサポートをすることができた。												

内 容	5. 事業・制度広報周知	
実績報告	1) 出張等説明会 地域福祉権利擁護事業説明や、成年後見制度利用支援について説明した。	
	開催日	相手先
	8/8	日野いずみ会
	2/17	介護人材育成研修参加者 (主に介護支援専門員、地域包括支援センター)
事業効果・評価 方向性等	・説明会を通して、市民や、福祉・介護関係者に直接周知できたと同時に支援者との連携が強化できた。	
内 容	6. 他機関との連携強化	
実績報告	1) 権利擁護センター運営委員会 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政、社協理事で構成。市民後見人への後見監督業務等、当センターの業務について、各専門職から助言を得たり、検討等を行った。	
	2) 中核機関設置に向けた話し合い 福祉政策課と役割や機能等について話し合った。(7/16, 9/29, 1/8)	
	3) 関係機関の連絡会等への参加	
	開催日	内容
	6/23	日野市地域包括支援センター社会福祉士部会
	6/24	地域福祉権利擁護事業センター長会議
	7/22, 12/18, 3/7	成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議
	7/28, 8/25, 12/18, 2/25	在宅療養支援課事例検討会
	10/22, 2/5	地域福祉権利擁護事業業務連絡会
	11/26	東京都成年後見地域連携ネットワーク会議
	3/24	多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会
事業効果・評価 方向性等	・成年後見制度利用促進のため、弁護士等専門職や、行政、地域包括支援センター等との地域連携ネットワークによる相談・支援の体制をさらに強化する必要があると考えている。	

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市内で活動する手話通訳者の技能の習得およびレベルアップを目指す。		
内容	1. 登録手話通訳者の資質向上		
実績報告	1) 研修 日野市登録手話通訳者を対象に、通訳者としてのスキルアップを目的とした研修を実施した。		
	開催日	内 容	参加者
	8/6	専門用語の確認（新型コロナウイルス関連） 協力：日野市聴覚障害者協会	15人
	10/1	議会通訳（12月議会通訳に向けて） 協力：日野市聴覚障害者協会	16人
	11/5	TPOにあった日本語の選択 講師：東京手話通訳等派遣センター 矢野朱美 氏	16人
事業効果・評価 方向性等	2) 打合せ 1回開催（6/26）		
	・日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会とともに、手話の技能習得及びレベルアップを図ることを目的とした研修プログラムを検討・企画した。 ・今後も当事者の意見を参考にし、充実したプログラムを作っていく。		

事業名	手話講習会事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	手話言語および手話表現技術、聴覚障害（者）に関する基本的な知識を習得することを目指す。健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。 また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。	
内容	1. 手話講習会中止	
実績報告	令和2年度手話講習会は、4月に緊急事態宣言が発令され会場となる公共施設の閉鎖等の影響により、通訳養成コース面談及び開講式を中止、5月から始まる入門クラスから応用実践クラスまでの授業を延期した。 その後、開催時期をずらし実施する予定で日野市・検討委員とともに検討を重ねたが、例年どおりの指導内容を維持することが困難であるため、9月か	

	ら始まる試験対策クラス以外のクラスを中止とした。 9月から試験対策クラスを実施する予定で準備を進めていたが、8月20日手話通訳者全国統一試験 東京都内3会場の試験実施を中止することが決まり、それに伴い試験対策クラスも中止することになった。
内 容	2. 講師・助手会議等の開催
実績報告	令和2年度実施に向けて、日野市及び検討委員と検討を重ねた。また、来年度に向けての検討を図った。 1) 令和2年度実施に向けての検討会 2回 (6/24, 7/21) 2) 障害福祉課との話し合い (7/3) 3) 次年度検討会 3回 (8/14, 10/8, 2/4) 4) 講師助手向けオンラインお試し講座 (講演会をオンライン開催する場合の確認のための講座) 中止
事業効果・評価 方向性等	・中止ありきではなく、いかに工夫して手話講習会が実施できるか検討を重ねた。 ・令和3年度に向けて、講師助手を対象としたオンラインお試し講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公共施設夜間利用中止のため、講座を中止した。

事業名	福祉のしごと相談・面接会					
事業形態	共催事業（東京都福祉人材センター）					
財源内訳	歳末たすけあい配分金					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目 的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。					
事業内容	1. 相談・面接会の実施					
実績報告	1) 共催 ハローワーク八王子					
	2) 実績					
		主催	開催日・場所	事業所数	参加者	採用人数
	2年度	東京都福祉人材センター	10/2 (金) イオンモール多摩平の森 イオンホール	14社	55人	4人
				高齢 4社 障害 5社 児童・保育 5社		高齢1人 障害1人 保育2人
	元年度	東京都福祉人材センター	10/4 (金) 福祉支援センター	11社	49人	7人
				高齢 4社 障害 4社 児童・保育 3社		高齢4人 障害2人 保育1人
	元年度	東京都福祉人材センター	10/4 (金) 福祉支援センター	14社	59人	2人
				高齢 10社 障害 2社 保育 2社		高齢 2人

事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症により、感染予防がとれる会場確保に苦慮したが、日野市福祉政策課と連携し「イオンモール多摩平の森イオンホール」で開催することができた。ソーシャルディスタンスの確保ができる会場で、飛沫防止・アルコール消毒・検温・完全予約制にするなど感染対策を徹底し実施した。 ・介護人材育成研修事業の一環である「福祉のしごと見学会」は、見学施設の受入れ困難となり、福祉のしごと相談・面接会（２回目）を代替事業として実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、初参加・無資格・未経験者の来場も多く、昨年度より採用実績も増加した。
-----------------	--

事業名	介護人材育成研修事業												
事業形態	受託事業（日野市）												
財源内訳	受託金												
担当係	在宅サービス係、総務係												
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ												
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を行う。また人材の確保のため福祉施設の就労相談のための見学会を実施する。												
事業内容	1. With（ウィズ）コロナアンケートの実施												
実績報告	市内 256 事業所を対象に今年度の研修開催にあたっての開催方法や研修テーマに関するアンケート調査を実施した。回答数 100 件（回答率 39.1%） 【主な調査結果】 <table><tr><td>・3 密対策を実施しての集合型研修への職員参加可能</td><td>77 件</td></tr><tr><td>・介護職員がWeb 会議ツールをすでに使用</td><td>39 件</td></tr><tr><td>・介護職員がWeb 会議ツールを使用予定</td><td>13 件</td></tr><tr><td>・オンライン研修への参加可能</td><td>28 件</td></tr><tr><td>・オンライン研修への参加に興味がある</td><td>64 件</td></tr></table>			・3 密対策を実施しての集合型研修への職員参加可能	77 件	・介護職員がWeb 会議ツールをすでに使用	39 件	・介護職員がWeb 会議ツールを使用予定	13 件	・オンライン研修への参加可能	28 件	・オンライン研修への参加に興味がある	64 件
・3 密対策を実施しての集合型研修への職員参加可能	77 件												
・介護職員がWeb 会議ツールをすでに使用	39 件												
・介護職員がWeb 会議ツールを使用予定	13 件												
・オンライン研修への参加可能	28 件												
・オンライン研修への参加に興味がある	64 件												
内 容	2. 人材育成のための研修会												
実績報告	1) 経営者・管理者向け（全2回）												
	開催日	内容	参加者										
	8/25午前	福祉職のためのzoom活用講座	7人										
	1/27午後	職員も管理者も守る！介護ハラスメント対策	30人										
	2) 施設職員向け（全5回）												
	開催日	内容	参加者										
	9/2夜間	福祉職のためのzoom活用講座	10人										
	9/29午後	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた介護	52人										
	3/4午後	身体拘束に頼らないケア	37人										
	3/12夜間	音楽療法研修	中止										
	3/23夜間	ストレス社会を生きるコツ	18人										

	3) 訪問介護員向け (全3回) <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8/28午後</td><td>福祉職のためのzoom活用講座</td><td>9人</td></tr><tr><td>9/2午前</td><td>福祉職のためのzoom活用講座</td><td>16人</td></tr><tr><td>3/18午後</td><td>コミュニケーション ※ケアマネジャー合同</td><td>46人</td></tr></table> 4) ケアマネジャー向け (全4回) <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>9/10午前</td><td>福祉職のためのzoom活用講座</td><td>10人</td></tr><tr><td>12/23午後</td><td>施設ケアマネジメントの勘どころ</td><td>46人</td></tr><tr><td>2/17午後</td><td>地域福祉権利擁護事業を身近に</td><td>70人</td></tr><tr><td>3/18午後</td><td>コミュニケーション ※訪問介護員合同</td><td>46人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	8/28午後	福祉職のためのzoom活用講座	9人	9/2午前	福祉職のためのzoom活用講座	16人	3/18午後	コミュニケーション ※ケアマネジャー合同	46人	開催日	内容	参加者	9/10午前	福祉職のためのzoom活用講座	10人	12/23午後	施設ケアマネジメントの勘どころ	46人	2/17午後	地域福祉権利擁護事業を身近に	70人	3/18午後	コミュニケーション ※訪問介護員合同	46人
開催日	内容	参加者																										
8/28午後	福祉職のためのzoom活用講座	9人																										
9/2午前	福祉職のためのzoom活用講座	16人																										
3/18午後	コミュニケーション ※ケアマネジャー合同	46人																										
開催日	内容	参加者																										
9/10午前	福祉職のためのzoom活用講座	10人																										
12/23午後	施設ケアマネジメントの勘どころ	46人																										
2/17午後	地域福祉権利擁護事業を身近に	70人																										
3/18午後	コミュニケーション ※訪問介護員合同	46人																										
事業効果・評価 方向性等	【福祉職のための zoom 活用講座】 with コロナアンケートによる調査結果を踏まえ、Web 会議ツールのひとつである zoom の利用方法を身につけて、業務や研修会の中で活用できるようにするための講座を全職種向けに開催した。参加者の中には、事業所の複数の職員で一緒に参加したり、職員全員が参加できるように参加日を振り分けたりしているところもあった。 【経営者・管理者向け研修】 介護ハラスメント対策は介護保険法改正の中でも取り上げられたため、参加者から高い関心が寄せられた。研修の中で、事業所での取り組みについても具体的な方策が複数示されたため参考になったという声があった。 【施設職員向け研修】 with コロナアンケートで希望の多かった「感染症対策を踏まえた介護」をテーマにした研修を集合型で開催したところ、参加者の3分の1が障害福祉サービス事業所の職員であった。職員の感染を経験した介護老人保健施設サルビアの看護長と南多摩保健所に講師を依頼したことで、行政のガイドラインによるものと現場の工夫によるものの双方から感染症対策を学べる機会となった。 【訪問介護員向け研修】 コミュニケーション研修では、両価性や宣言による自己動機づけ、心理的防衛、正したい反射などをキーワードに利用者と共に問題解決を目指すコミュニケーションの取り方について学ぶ機会となった。 【ケアマネジャー向け研修】 「施設ケアマネジメントの勘どころ」では、希望の多かった施設ケアマネジメント業務について扱う初めての研修となった。また、「地域福祉権利擁護事業を身近に」では、今年度最大の参加者数となり、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度との連携方法が具体的な形で理解できたという評価が得られた。																											
事業内容	3. 事業所向け年度末アンケートの実施																											
実績報告	市内 260 事業所を対象に今年度開催した研修の評価や効果に関するアンケート調査を実施した。 回答数 49 件 (回答率 18.8%) 【主な調査結果】 (1) 今年度の研修は、貴事業所の職員の定着につながったと思いますか？ ・とてもつながった 5 件 (10.6%)																											

	・つながった 6件 (12.8%) ・あまりつながらなかった 4件 (8.5%) ・つながらなかった 7件 (14.9%) ・つながったかどうか分からない 25件 (53.2%) (2) 今年度の研修は、貴事業所の職員のスキルアップにつながったと思いますか？ ・とてもつながった 6件 (13.6%) ・つながった 12件 (27.3%) ・あまりつながらなかった 3件 (6.8%) ・つながらなかった 5件 (11.4%) ・つながったかどうか分からない 18件 (40.9%)
事業内容	4. 参加者向け年度末アンケートの実施
実績報告	今年度の研修参加者 191 人を対象に今年度開催した研修の評価や効果に関するアンケート調査を実施した。 回答数 48 件 (回答率 25.1%) 【主な調査結果】 (1) 現在の事業所での勤務年数 ・1 年未満 7 件 (14.6%) ・1 ～ 5 年 20 件 (41.7%) ・6 ～ 10 年 6 件 (12.5%) ・11 年 ～ 20 年 14 件 (29.2%) ・21 年以上 1 件 (2.1%) (2) 今年度の研修は、あなたが現在の仕事に定着される上で役立ちましたか？ ・大いに役立った 11 件 (22.9%) ・役立った 27 件 (56.3%) ・あまり役立たなかった 6 件 (12.5%) ・まったく役立たなかった 0 件 (0%) ・分からない 4 件 (8.3%) (3) 今年度の研修は、あなたのスキルアップに役立ちましたか？ ・大いに役立った 9 件 (18.8%) ・役立った 29 件 (60.4%) ・あまり役立たなかった 5 件 (10.4%) ・まったく役立たなかった 0 件 (0%) ・分からない 5 件 (10.4%)
事業効果・評価 方向性等	・事業所向け年度末アンケートでは、回答率の低さと職員が研修に参加していない事業所からの回答割合が高く、結果、職員の定着に「とてもつながった」、「つながった」の割合と「あまりつながらなかった」、「つながらなかった」の割合に差異が見られなかった。 ・参加者向け年度末アンケートでもあまり回答率は高くなかったが、定着およびスキルアップに「大いに役立った」、「役立った」がどちらも合計で 38 件 (79.2%) となり、参加者からは狙っていた研修効果があったという評価が得られた。

事業名	社会福祉士養成のための実習生の受入		
事業形態	独自事業		
財源内訳	手数料		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。		
内容	1. 実習プログラムの充実		
実績報告	大学や専門学校で社会福祉士取得を目指している学生に、社会福祉協議会における、社会福祉士にとって必要な知識や技術の指導を行った。実習総括のため学生による活動発表・報告会を実施した。		
	1) 概要及び内容		
	教育機関（学校名）	期間（日数・時間）	受入数
	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科3年	9/14-10/26 (24日間・180時間)	1人
事業効果・評価 方向性等	2) 実習報告会 10/26（金）		
	・年間4人の受け入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策等により、2人キャンセル、1人延期（令和3年4月実施予定）となり、令和2年度内での受け入れは1人に留まった。		

法人運営事業

事業名	組織運営事業		
事業形態	独自事業、補助事業		
財源内訳	補助金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、積立金、繰越金		
担当係	総務係（12.部会活動は地域支援係、ボランティア係）		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ功利的な経営が行われるよう努める。		
内容	1. 理事会・評議員会・経営会議の開催		
実績報告	1) 理事会		
		実施日	内容
	第1回	6/15	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和元年度 事業報告について 審議第2号 令和元年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 社会福祉充実残額の承認について 審議第4号 第一次補正予算の報告承認について 審議第5号 第二次補正予算の報告承認について 審議第6号 職員の休職及び復職に関する取扱要綱の一部改正の報告承認について 審議第7号 給与規程の一部改正の報告承認について 審議第8号 理事候補者の提案について 審議第9号 定時評議員会の開催について
	第2回	11/19	報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第10号 令和2年度 上半期事業報告について 審議第11号 令和2年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第12号 令和2年度 第三次補正予算の報告承認について 審議第13号 令和2年度 第四次補正予算の承認について 審議第14号 日野市生活困窮者等子どもの学習等支援事業運営規程の一部改正について 審議第15号 理事候補者の提案について 審議第16号 評議員候補者の推薦及び解任について 審議第17号 評議員選任解任委員会の開催について 審議第18号 評議員会の開催について
	第3回	3/18	報告第3号 第5次日野市地域福祉活動計画について 審議第19号 定款の一部改正について 審議第20号 無料職業紹介事業等の運営に関する規程の廃止について 審議第21号 契約職員就業規程の一部改正について 審議第22号 パートタイム職員就業規程の一部改正について 審議第23号 無期雇用転換職員の就業に関する取扱要綱の一部改正について 審議第24号 評議員選出規程の一部改正について 審議第25号 令和2年度第五次補正予算の報告承認について 審議第26号 令和3（2021）年度 事業計画について

		審議第27号 令和3（2021）年度 予算について 審議第28号 評議員会の開催について
2) 評議員会		
	提案日	内容
第1回 (決議の省略)	6/15	議案第1号 令和元年度 事業報告について 議案第2号 令和元年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 第一次補正予算の報告承認について 議案第5号 第二次補正予算の報告承認について 議案第6号 職員の休職及び復職に関する取扱要綱の一部改正の報告承認について 議案第7号 給与規程の一部改正の報告承認について 議案第8号 理事候補者の選任について ※同意書最終提出日 6/30
第2回 (決議の省略)	11/20	報告第2号 評議員選任・解任委員会の開催ならびに評議員の退任及び選任の報告について 議案第9号 令和2年度 上半期事業報告について 議案第10号 令和2年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第11号 令和2年度 第三次補正予算の報告承認について 議案第12号 令和2年度 第四次補正予算の承認について 議案第13号 日野市生活困窮者等子どもの学習等支援事業運営規程の一部改正について 議案第14号 理事候補者の選任について ※同意書最終提出日 12/28
第3回 (決議の省略)	3/18	報告第3号 第5次日野市地域福祉活動計画について 議案第15号 定款の一部改正について 議案第16号 無料職業紹介事業等の運営に関する規程の廃止について 議案第17号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第18号 パートタイム職員就業規程の一部改正について 議案第19号 無期雇用転換職員の就業に関する取扱要綱の一部改正について 議案第20号 評議員選出規程の一部改正について 議案第21号 令和2年度第五次補正予算の報告承認について 議案第22号 令和3（2021）年度 事業計画について 議案第23号 令和3（2021）年度 予算について ※同意書最終提出日 4/19
3) 経営会議 11回開催		
4) 内部監査（監査）		
①令和元年度決算監査 6/2（火）		
②令和2年度中間決算監査 11/2（月）		
5) 日野市福祉政策課による指導監査 2/24（水）10：00～16：30		
内 容	2. 評議員選任・解任委員会の開催	
実績報告	評議員の退任に伴う新たな候補者の選任を行った。 1) 評議員選任・解任委員会 1回（11/19） 退任者1人 選任者1人	

内 容	3. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置
実績報告	1) 苦情解決第三者委員 林 幹高 氏 (NPO法人福祉カフェテリア理事長) 安西 清 氏 (保護司) 斎藤一郎 氏 (前日野市民生児童委員) 2) 苦情申立件数 なし
内 容	4. 第5次日野市地域福祉活動計画の策定
実績報告	1) 策定委員 (順不同) 14 人 ・山本美香 氏 (東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 教授) ・浅野大輔 氏 (社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせん 施設長) ・中澤 洋 氏 (日野市社会福祉協議会 理事) ・松田純子 氏 (日野市社会福祉協議会 理事) ・中村真佐子氏 (権利擁護センター日野 生活支援員) ・北村智史 氏 (公益社団法人成年後見センター リーガルサポート東京支部 多摩地区リーダー) ・矢崎 功 氏 (南平地区社会福祉協議会 事務局長) ・古谷 晋 氏 (社会福祉法人マザアス マザアス日野施設長) ・栗沢稚富美氏 (ひの社会教育センター「子育てカフェモグモグ」) ・飯沼一将 氏 (地域包括支援センターせせらぎ) ・藤田博文 氏 (CIL 日野 事務局次長) ・日下真紀 氏 (日野市民生委員・児童委員協議会) ・猪鼻謙介 氏 (日野市健康福祉部福祉政策課地域福祉係 係長) ・小松利夫 氏 (日野市企画部地域協働課 課長) 2) 策定委員会 4 回開催 (7/31, 10/16, 1/22, 3/4) 3) 事務局会議 10 回実施 (6/30, 7/20, 8/5, 8/13, 9/10, 9/24, 10/26, 11/25, 12/21, 1/12) 4) 3 つの部会 第 4 次日野市地域福祉活動計画 (平成 27 年度から平成 31 年度まで) において定めた 3 つの視点「ともにみまもる」「ともにつくる」「ともにそだつ」を踏襲し、視点ごと正規職員による部会を立ち上げ、検討を行った。 5) アンケート「日野市の地域福祉活動に関する意識調査」の実施 調査期間 8/15 から 9/30 まで 調査方法 ①Web アンケート ②無作為に個別ポスティング (2,000 部) ③福祉施設利用者への配布 (1,300 部) 配布協力 (社福) 夢ふうせん (社福) すずかけの会 (社福) おおぞら (社福) 健生会 (社福) 栄光会 (社福) 清心福祉会 (社福) 至誠学舎立川 子育てカフェもぐもぐ アルファラ百草教室 回収数 1,120 部 回収率 33.9%

事業効果・評価 方向性等	・第1回策定委員会では、前計画である第4次日野市地域福祉活動計画における事業の成果や課題等の報告を行った。 ・正規職員から構成される作業部会を立ち上げ、各視点に基づき、計画策定にあたり検討を図った。 ・市民に対し意識調査アンケートを実施した。アンケート配布を日野市内社会福祉法人ネットワークに協力いただき、手渡しで配布したところ、回収数が1,000部を超えることができた。 ・令和3年度からの計画となる第5次日野市地域福祉活動計画は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、策定委員会の開催は4回に留まったが、幅広い分野から選出される委員より、多数の意見提言を得ることができ令和3年3月に完成した。 ・策定委員会においてのZoom参加や市民調査の実施方法にwebアンケートを取り入れる等感染対策を考慮しつつ、市民の意見を反映できるよう努めた。 ・第5次日野市地域福祉活動計画の推進委員は、原則策定委員が務めることとなった。
内 容	5. 第4次日野市地域福祉活動計画推進会議の開催
実績報告	第4次日野市地域福祉活動計画の成果報告・課題等の検証のため、推進会議を実施した。 1) 推進会議 1回 (12/17)
事業効果・評価 方向性等	・第4次日野市地域福祉活動計画（平成27～令和2年度）総括として、第4次計画推進会議で報告・評価し、第5次策定における最終提言を行った。
内 容	6. 日野市内社会福祉法人ネットワーク
実績報告	社会福祉法人同士の連携や地域公益活動実施のためのネットワーク化を図り、事務局を日野市社会福祉協議会総務係に置くこととした。 「情報発信（共有）」「福祉人材の育成」「暮らしの支援」を目的に地域公益活動の連携・協力を呼びかける。 1) 幹事会の開催 (9/11, 11/26, 1/28) 2) 幹事会による活動 ①社会福祉法人対象に「新型コロナウイルス感染症に伴う状況調査」（アンケート）の実施 ・回答施設数 29施設 ②新型コロナウイルス感染症対策用マスク提供の実施 (2回実施) ・第1回 (10月) 60施設 852箱 ・第2回 (2月) 77施設 1480箱 (いずれも延べ数) ※社会福祉法人施設以外の福祉施設含む ③木下大サーカス立川公演 福祉ご招待券の配布協力について (9月) ・配布実績 39施設 841枚 (延べ数) ※社会福祉法人施設以外の福祉施設含む 3) 情報発信・啓発 ①防災・減災オンラインフォーラム (10/3) ②地域共生社会を考えるオンラインフォーラム開催 (3/7) 「無意識の思い込み・偏見 (アンコンシャス・バイアス)」

	4) 福祉人材の育成 ①日野市移動支援従事者養成講座の実施のための企画検討 検討会4回(10/14, 11/5, 11/30, 3/17) 5) 暮らしの支援 ①フードパントリーの実施協力 A フードパントリー拠点 5カ所 ・(社福) 日野市社会福祉協議会 日野事務所及び高幡事務所 ・(社福) 東京緑新会 多摩療護園 ・(社福) 夢ふうせん 工房夢ふうせん ・(社福) すずかけの会 放課後等デイサービスぷらたなす B 利用件数(全施設合計) <table border="1"> <tr> <td>2年度</td><td>1169件</td></tr> <tr> <td>元年度(11~3月)</td><td>42件</td></tr> </table> ②買い物お助けサービスの実施(月2回/土曜日実施/南平エリア) 社会福祉法人友遊の家による買い物を目的とした送迎サービス。 利用登録者 4人	2年度	1169件	元年度(11~3月)	42件
2年度	1169件				
元年度(11~3月)	42件				
事業効果・評価 方向性等	・幹事会と福祉政策課と協働で「新型コロナウイルス感染症に伴う状況調査」やマスクの配布協力を行い、社会福祉法人施設等の感染症対策における側面支援を行った。 ・「新型コロナウイルス感染症の影響による緊急特例貸付事業(令和2年3月開始)」とともに「フードパントリー」のチラシ配布を行い、利用希望者が飛躍的に伸び、失職・減収された方への一時的な食を通じた支援を行った。 ・フードパントリーにおける配布協力施設として、ひらやま圏域で新たに(社福)すずかけの会「放課後デイぷらたなす」が10月より協力を開始した。 ・「障害児者の暮らしと移動支援事業について」の明星大学での講義「社会福祉援助演習」がコロナにより中止(5/29)となったが、日野市独自の移動支援従事者養成講座の令和3年度の実施に向けて、障害福祉関係施設ならびに障害福祉課と検討を進めた。				
内 容	7. 日野市を始めとする関係委員会等への委員協力				
実績報告	日野市等が行う関係する委員会等へ選出(推薦)し、日野市の地域福祉活動等の連携を深めるとともに情報共有を図る。 (会長) 1. 東京都社会福祉協議会 区市町村社会福祉協議会部会 評議員会 2. 南多摩保健所協議会 3. (社福) 東京都共同募金会評議員会 4. (社福) 東京緑新会理事会 5. (社福) おおぞら評議員会 6. 日野台高等学校 防災教育推進委員会 7. 日野台高等学校 学校運営連絡協議会 8. ふだん着でCO2をへらそう実行委員会 9. 日野市社会教育センター運営委員会 (職員) 1. 日野市地域福祉計画推進委員会(事務局長)				

	2.日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会（事務局長・地域支援係） 3.日野市介護保険運営協議会等（地域支援係） 4.日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議（総務係） 5.日野市住宅ストック活用推進協議会（ボランティア係） 6.日野市居住支援協議会（総務係） 7.日野市献血推進協議会（事務局長） 8.日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会（事務局長） 9.日野高等学校運営連絡協議会（事務次長） 10.日野消防署住宅防火防災対策推進協議会（事務局長） 11.地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会（地域支援係） 12.日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会（事務次長） 13.日野わーく・わーく会議（在宅サービス係） 14.日野市障害者就業支援連絡会（在宅サービス係） 15.地域自立支援協議会（総務係） 16.日野市中卒後支援検討委員会（地域支援係・ボランティア係）															
内 容	8. 社会福祉協議会会員会費の拡充・啓発															
実績報告	財源確保のため、関係団体（日野市商工会・日野市民生児童委員・日野市老人クラブ連合会・自治会・日野市職員）をはじめ地域へ協力依頼を行った。 1) 会費実績 <table><tr><td></td><td>合計（件数）</td><td>内訳</td></tr><tr><td>2年度</td><td>3,383,690円（773件）</td><td>個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）</td></tr><tr><td>元年度</td><td>3,692,550円（931件）</td><td>個人 551,940円（428件） 特別 475,000円（137件） 団体 2,665,610円（366件）</td></tr></table> 2) 寄附金実績 <table><tr><td></td><td>合計額（件数）</td></tr><tr><td>2年度</td><td>経常区分 4,944,848円（96件）</td></tr><tr><td>元年度</td><td>経常区分 7,166,941円（109件）</td></tr></table>		合計（件数）	内訳	2年度	3,383,690円（773件）	個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）	元年度	3,692,550円（931件）	個人 551,940円（428件） 特別 475,000円（137件） 団体 2,665,610円（366件）		合計額（件数）	2年度	経常区分 4,944,848円（96件）	元年度	経常区分 7,166,941円（109件）
	合計（件数）	内訳														
2年度	3,383,690円（773件）	個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）														
元年度	3,692,550円（931件）	個人 551,940円（428件） 特別 475,000円（137件） 団体 2,665,610円（366件）														
	合計額（件数）															
2年度	経常区分 4,944,848円（96件）															
元年度	経常区分 7,166,941円（109件）															
事業効果・評価 方向性等	・会員会費運動については新型コロナウイルス感染症対策等により、郵送で協力依頼となる等、実績が大きく減少となった。 ・「広報ひの（6/15）臨時号」において寄附の呼びかけにより、20名近くの新規寄附者の申込があった。日野市福祉政策課の協力を得、広報ひのに寄附先に掲載されたことが、寄附金増加の一因と考えている。															
内 容	9. 法人管理運営															
実績報告	各種法令を遵守し、法人管理事務を行った。 ・人事・給与 ・福利厚生（健康診断・管理） ・文書類の收受 ・事業計画・報告 ・予算管理・決算事務（会計処理） ・その他の事務															
内 容	10. 地域福祉活動推進のための自己財源や共同募金の確保															
実績報告	①会員会費の充実 ②寄附金/共同募金の募集とともに使途報告に努め、継続・拡充を図る。 ③収益事業の健全経営に努める。															

	④ひの社協だより広告掲載企業を募集する。 ⑤積立金の運用方法等を検討する。						
内 容	11. 広報活動の工夫						
実績報告	広報紙「ひの社協だより」 No238 (7月12日発行) 43,000部 主な記事 特例貸付 (緊急小口資金・総合支援資金)、会員会費 No239 (9月20日発行) 43,000部 主な記事 福祉のしごと相談面接会、赤い羽根共同募金運動 No240 (2月1日発行) 43,000部 主な記事 福祉のしごと相談面接会、オンラインフォーラム						
事業効果・評価 方向性等	・年間4回発行している社協だよりだが、2年度は新型コロナウイルスの影響で事業中止が相次ぎ、年間3回の発行となった。 ・今後は広報紙による効果を検証し、発行月やデザイン・レイアウトの変更等を含め内部で検討していく。						
内 容	12. 事務局体制の整備・職員の資質向上						
実績報告	1) 職員 2班体制の導入 緊急事態宣言発令に伴い、新型コロナウイルス感染防止及び業務の継続を図るため、日野市において職員の2班体制を導入したことにあわせ、日野市社会福祉協議会 (日野事務所・高幡事務所の2事務所/正規非正規問わず) においても2班体制を導入した。 期間 4月15日から5月31日まで 2) 職員会議 4,5月は交代勤務のため中止、6月から毎月実施 3) 東京都や東京都社会福祉協議会等主催の各事業における研修参加を通じて、職員の資質向上に努める ■在宅サービス係 思春期青年期問題研修						
事業効果・評価 方向性等	・出勤と在宅勤務を交代しながら業務を進めるという、今までにない体制で業務に臨んだことにより、在宅勤務という新しい業務体験をしたことで、今後の業務の在り方について考えることができた。 ・2班体制で業務に取り組んだことで、報告・連絡・相談を密に取り合い、社協職員が一体となり市民の支援にあたることが出来た。職場内の絆もより一層深まったと感じている。						
内 容	13. 部会活動						
実績報告	1) 障害者施設職員交流会部会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を休止していたが、令和3年3月よりオンライン (Zoom) にて情報交換を再開した。 <table><tr><td>日時</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>3/26</td><td>近況報告 (コロナ禍の施設運営について)</td><td>8人</td></tr></table> 2) 児童部会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止中	日時	内容	参加者	3/26	近況報告 (コロナ禍の施設運営について)	8人
日時	内容	参加者					
3/26	近況報告 (コロナ禍の施設運営について)	8人					

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営		
事業形態	指定管理者制度（平成29年4月1日～令和3年3月31日）		
財源内訳	受託金（指定管理料）		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者の安全に利用できるよう施設運営に努める。		
内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営		
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館		
	2) 利用実績		
		利用者	
		開館日数	利用者数
	2年度	235日	1,489団体
	元年度	274日	2,319団体
	3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機 ⑤ヘルストロン ⑥消防用設備 ⑦夜間警備		
事業効果・評価方向性等	・新型コロナウイルス感染症対策として、3/4から6/15まで臨時休館とし、6/15から夜間のみ閉館、7月より定員を半減する等感染症対策を施し開館した。 ・令和2年度より中央公民館とともに日野市における予備的避難所（風水害時）として位置付けられた。		

高齢者就業創出支援事業

事業名	しごとサポートひの					
事業形態	補助事業					
財源内訳	補助金、繰越金					
担当係	しごとサポートひの					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目的	高齢者の就労機会の創出、社会参加の機会を促進する。					
内 容	1. 利用者の拡大・広報周知					
実績報告	市内運行ミニバス内に掲示、市広報、社協だより、チラシ作成・配布等を通して事業案内を幅広くPRして利用者の拡大を図った。					
		新規	再来	閲覧・相談	紹介	就職
	2年度	361人	605人	131人	218件	50人
	元年度	453人	793人	75人	218件	45人
	<就職先職種>					
	事務2人、受付事務1人、販売1人、調理補助3人、清掃14人、保育1人、教員1人、運転7人、生活支援員2名、介護2人、管理2人、警備5人、児童厚生員2名、軽作業員7名					
実績報告	<就職者年齢別内訳>					
		50歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
	2年度	19人	17人	11人	3人	
	元年度	18人	15人	11人	1人	
内 容	2. 求人事業所への積極的な開拓					
実績報告	自所受求人件数1,501件、自所受求人延人数4,411人					
事業効果・評価方向性等	就業先の確保、拡大にむけて有料広告からの情報を得て事業所に直接交渉を行い求人情報を得ることができた。面接会参加事業所への周知を図り、自所受求人件数の増加に繋がった。					
内 容	3. 広報活動					
実績報告	1) 広報活動の実施					
	・市内循環ミニバス内への広告掲示 (8/1～8/14・9/15～9/30)					
	・イオンモール多摩平の森へのポスター掲示					
	・日野駅前掲示板へのポスター掲示					
実績報告	2) おしごといきいきSALONの開催					
	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月末開催を予定していた再就職支援セミナーを延期とし、新たな取り組みとして小規模な「情報交換会」を開催しました。					
	日 時 9/26 (土) 10:30～12:00					
	場 所 多摩平の森産業連携センター P l a n T					

なお、当該事業は令和2年12月17日付で日野市と取り交わした「日野市アクティブシニア就業支援事業の廃止に関する覚書」に基づき、令和3年3月31日を以て終了した。令和3年4月1日以降は「ナイスワーク高幡」にその機能を移転した。

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置等管理事業		
財源内訳	手数料、利用料		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	公共施設の自動販売機の設置や中央福祉センター内の印刷機等を貸し出しする等、施設の利便性の向上を図り社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	1. 自主財源の確保		
実績報告	自動販売機の設置		
	1) 実績		
		台数	ロケマージン
	2年度	24台	4,332,492円
	元年度	23台	6,620,457円
	2) 設置場所 13ヶ所 (24台数)		
	・日野市役所1階 (5) ・クリーンセンター (2)		
	・福祉支援センター (1) ・中央福祉センター (2)		
	・生活・保健センター (1) ・ひの煉瓦ホール (4)		
	・中央公民館 (1) ・教育センター (1)		
・勤労・青年会館 (1) ・ふるさと歴史館 (2)			
・百草コミュニティセンター (1)			
・PlanT (多摩平の森産業連携センター) (1)			
・プラスチック類資源化施設 (2)			
印刷機等の貸出			
1) 実績			
	件数	利用料	
2年度	28件	57,047円	
元年度	75件	118,006円	
事業効果・評価方向性等	・新型コロナウイルス感染症予防のため、自動販売機を設置する公共施設の閉館や時間短縮の影響を受け、定員マージン収入が大幅に減少した。 ・ひの市民会館の改修工事 (9月～2月) に伴い、工事期間は一部 (3台) を撤収し、1台は工事関係者用に稼働させた。 ・クリーンセンタープラスチック類資源化施設開設に伴い、6月より新たに2台設置した。 ・マージン収入の減少 (設置箇所の利用者数減小) 傾向が続き、新たな社会貢献型自動販売機箇所の検討を要している。		

事業名	日野市役所内売店の運営		
事業形態	収益事業		
財源内訳	売上金、繰越金		
担当係	総務係・日野市役所内売店		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	1. 障害者の社会参加の促進		
実績報告	品出し・販売業務補助委託：社会福祉法人青い鳥福社会 訓練生（障害者）：1人		
事業内容	2. 運営概要		
実績報告	1) 営業日時 月～金曜日（9:30～16:30） ※祝日・年末年始を除く 従業員 管理責任者1人、補助職員2人		
		売上	商品残高
	2年度	20,335,494円	2,017,602円
	元年度	22,027,353円	2,076,527円
	2) 緊急事態宣言に伴う営業時間の短縮 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市役所売店の営業時間を短縮した。 4月13日～5月29日 9:30～13:30 6月1日～6月30日 9:30～15:00 7月1日～8月31日 9:30～15:30		
3) 経営見直しによる営業時間の短縮 経営の見直しの観点から9月1日より営業時間を短縮した。 (15:30まで)			
事業効果・評価 方向性等	・緊急事態宣言を受け、営業時間を短縮するなど新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、売上が大きく減少した。 ・新型コロナウイルス感染症による影響と経営の見直しの観点から、日野市関係部署と協議し、9月1日より通常の営業時間を短縮することとした。 ・新型コロナウイルス感染予防のため、売店の訓練生（知的障害者）の実習を4月3日から6月30日まで中止した。 ・4月から8月の時短要請に伴い、パートタイム職員に関わる雇用調整助成金の申請を行い交付を受けた。		

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）			
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）			
財源内訳	地区協力会事務費			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ			
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。			
内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大			
具体的な取組	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/28）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。			
	1）募金実績			
	1）募金実績			
		募金額	内訳	
	2年度	2,535,385円	地区募金	2,097,428 円
			街頭募金	0円
			自動販売機	437,957円
	元年度	2,871,020円	地区募金	1,314,156 円
			街頭募金	1,003,653円
			自動販売機	553,211円
2）街頭募金活動 中止				
3）赤い羽根共同募金へ寄附する自動販売機設置				
①協賛企業 4社				
・東京キリンビバレッジサービス(株) ・(株)伊藤園				
・サントリービバレッジサービス(株) ・FVイーストジャパン(株)				
②日野市社会福祉協議会による設置 9ヶ所				
・多摩平の森産業連携センターPlanT ・日野市役所				
・福祉支援センター ・クリーンセンター ・中央福祉センター				
・中央公民館 ・生活保健センター				
・百草台コミュニティセンター ・プラスチック類資源化施設				
③他団体による設置協力 3ヶ所				
・日野市市民の森ふれあいホール ・パチンコRAMO				
・日野市立病院				
4）関係部署窓口において募金受付				
日野市福祉政策課、七生支所、日野市役所売店				
5）日野市役所市民窓口に募金箱を設置				
期間 10/26（月）から12/25（金）まで				

事業効果・評価 方向性等	・例年、日野地区では街頭募金活動に力を入れて募金の普及に取り組んでいるが、2年度は新型コロナウイルスの影響から街頭募金活動が一度もできなかった。 ・配分推せん委員より意見をいただき、日野市役所内に募金箱を設置した。新型コロナウイルスは、街頭募金活動だけでなくその他の方法による募金活動を検討するきっかけとなった。
内 容	2. 広報啓発活動
具体的な取組	1) 地域への募金協力の呼びかけ ①ひの社協だよりやホームページによる周知活動 ②自治会をはじめ、社会福祉団体等へチラシ・ポスター・赤い羽根等を郵送、協力の呼びかけ 2) ボランティア団体等による街頭募金・周知活動 新型コロナウイルス感染症を考慮し、全面中止

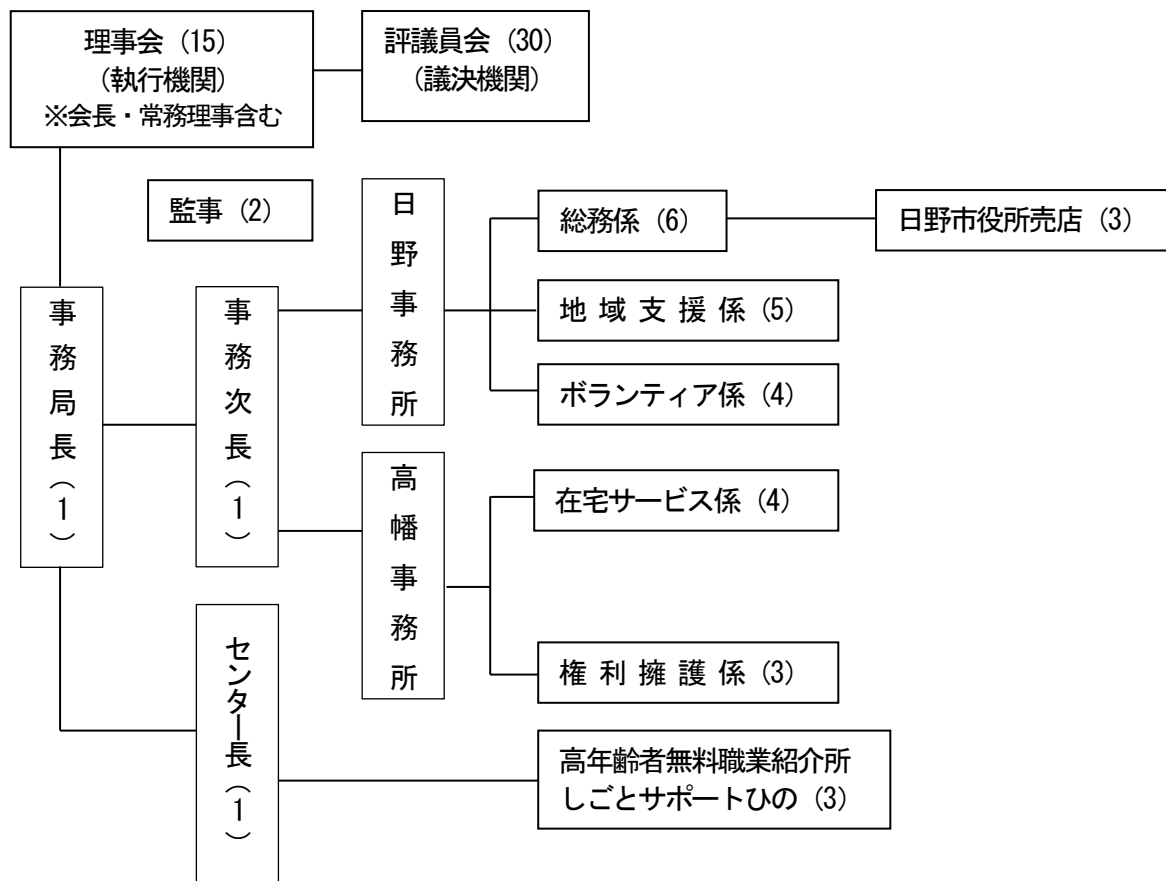
事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目 的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの『助成金の受付ならび申請内容の審査・検討』を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。		
内 容	1. 審査・推せん（推せん・意見書の交付）		
実績報告	1) 日野地区配分推せん委員会 委員構成 ・日野市社会福祉協議会 理事 ・日野市赤十字奉仕団 ・日野社会福祉士会 ・市内自治会（市民） ・日野市民生児童委員協議会 ・日野市老人クラブ連合会 ・日野市ボランティア・センター ・日野市内社会福祉法人ネットワーク ・日野市障害福祉課 ・明星大学きらきらボランティアセンター ・地域包括支援センター 2) 委員会の開催 2回（9/18, 1/26） 3) 意見書の交付 1法人 東京都共同募金会へ意見書を交付した。		
	法人名（施設名）	申請内容	申請金額
	社会福祉法人啓光福祉会 （啓光ホームくらさわ）	障害者グループホーム新設に伴う業務用車両整備	1,800,000 円

	4) 推せん 10 法人 13 施設 順位を付け東京都共同募金会へ推せんした。		
	法人名 (施設名)	申請内容	推せん金額
	特定非営利活動法人やまぼうし (やまぼうしホーム)	洗面化粧台設置工事	50,000 円
	特定非営利活動法人在宅福祉サービス スウィズ (ケアホームともにこ)	ガス衣類乾燥機の設置	200,000 円
	金子ベビーホーム	老朽化した散歩・避難用手 押し車の購入	100,000 円
	社会福祉法人夢ふうせん (工房夢ふうせん)	業務用室内専用オゾン発生 装置の購入	110,000 円
	社会福祉法人夢ふうせん (工房夢ふうせんアネックス)	業務用室内専用オゾン発生 装置の購入	110,000 円
	社会福祉法人東京緑新会 (多摩療護園)	プロジェクター及び移動式 スクリーンの購入	160,000 円
	社会福祉法人マザアス (マザアス日野)	利用者が職員とコミュニケ ーションを図る際に使用す るタブレット端末の購入	300,000 円
	社会福祉法人すずかけの会 (ふらたなす)	IH クッキングヒーターの購 入	80,000 円
	社会福祉法人すずかけの会 (ふらっと・すずかけ)	ホワイトボードパーテーシ ョンの購入	70,000 円
	社会福祉法人日野青い鳥福祉会 (あおいとり日野)	防災用品購入	120,000 円
	特定非営利活動法人あるく・自律を 目指す会 (つきのおあしす)	ヨガ教室の実施	200,000 円
	社会福祉法人 日野市社会福祉協議会	みんなと一緒にの運動会 (障 害者運動会) の開催	240,000 円
	社会福祉法人すずかけの会 (すずかけの家)	縦型洗濯機の購入	120,000 円
	合計		1,860,000 円
内 容	2. 助成内容の調査・確認		
実績報告	1) 施設見学会の中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉施設では来客の制限を行 っていることにより、例年実施している施設見学会を中止した。		

歳末たすけあい運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施		
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）		
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。		
事業内容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大		
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。		
	1) 運動期間 12/1～12/28		
	2) 募金実績		
		募金額	内訳
	2年度	3,288,163円	戸別募金 3,288,163円 街頭募金 0円 バザー募金 0円
	元年度	3,341,134円	戸別募金 2,065,963円 街頭募金 7,380円 バザー募金 1,275,171円
	3) 歳末たすけあいバザー 中止		
	4) 街頭募金活動 中止		
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症予防のため、歳末たすけあいバザーならびに街頭募金活動を中止としたため、実績が前年度を下回った。 ・「密」をさけるイベント開催は困難となるため、今後の関連活動の実施について、他市の状況等を踏まえ検討している。 ・団体からの大口の募金があったため、戸別募金は増えている。		

日野市社会福祉協議会組織図



職員数 28人（日野市役所売店は除く）

（ ）内は職員数